



クラス		受験番号	
出席番号		氏 名	

2014年度

全統高2記述模試問題

地理歴史・公民

2015年1月実施

(1科目 60分)

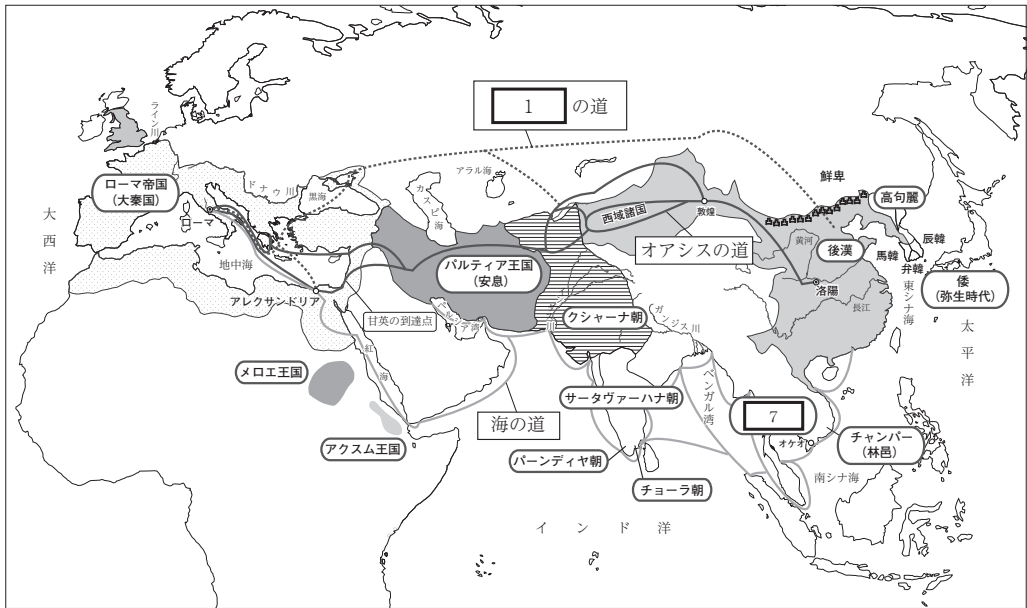
試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かず、下記の注意事項をよく読むこと。

注 意 事 項

1. 問題冊子は65ページである（世界史B 1～18ページ，日本史B 19～30ページ，地理B 31～44ページ，政治・経済45～65ページ）。
2. 解答用紙は別冊になっている（「受験届・解答用紙」冊子表紙の注意事項を熟読すること）。
3. 本冊子に脱落や印刷不鮮明の箇所及び解答用紙の汚れ等があれば，試験監督者に申し出ること。
4. 試験開始の合図で「受験届・解答用紙」冊子の地理歴史・公民の解答用紙を切り離し，下段の所定欄に **氏名**・**在学高校名**・**クラス名**・**出席番号**・**受験番号**（受験票の発行を受けている場合のみ）を明確に記入すること。なお，氏名には必ずフリガナも記入のこと。
5. 解答には，必ず黒色鉛筆を使用し，解答用紙の所定欄に記入すること。
6. 指定の解答欄外へは記入しないこと。採点されない場合があります。
7. 試験終了の合図で上記4.の事項を再度確認し，試験監督者の指示に従って解答用紙を提出すること。

世界史 B

- 1** ユーラシア大陸各地の2世紀を中心とする歴史について述べた次の文章A～Dを読み、下記の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24点)



A 1～2世紀頃のユーラシア大陸では、ローマ帝国・パルティア・クシャナ朝・サータヴァーハナ朝・後漢などの国家が繁栄し、「1の道」・「オアシスの道（絹の道）」・「海の道」といった東西交易路によって、相互の交易・交流が盛んになっていった。

2 世紀のローマ帝国は、五賢帝時代と呼ばれる繁栄期を迎えており、2 帝の時代には帝国の領土は最大となった。この時代には紅海・インド洋を通じた対外貿易がさかんに行われ、東方や南方から絹や象牙、香料などがもたらされた。この対外貿易を促進したのがローマ金貨である。ローマ金貨は国際通貨としての信頼が高く、各地で幅広く使用された。しかし五賢帝時代の終了後、ローマ帝国は属州の反乱や周辺勢力との抗争によって、社会不安が増大する「3 世紀の危機」⁽²⁾と呼ばれる衰退期を迎えることとなった。

B ユーラシア大陸の東西交易が活発化すると、そのルート上の勢力も繁栄した。 3 朝シリ
アから独立してイランやメソポタミアを支配したパルティアは、領内を通る東西交易の関税によっ
て利益を得た。また、北インドではパルティアと同様に東西交易によってクシャーナ朝が繁栄し
た。クシャーナ朝では東西世界の文化の融合・交流がみられ、ヘレニズム文化の影響を受けた仏像

制作で知られる [4] 美術などが発展した。クシャーナ朝は2世紀のカニシカ王のもとで最盛期を迎えた。彼は都を [5] に置き、⁽³⁾中央アジアからガンジス川流域までの広大な領域を支配した。しかし3世紀になると、パルティア・クシャーナ朝ともに⁽⁴⁾ササン朝の攻撃を受けて滅亡・衰退した。

C 2世紀のデカン高原では、ドラヴィダ系のサータヴァーハナ朝が最盛期を迎え、西方ではサカ族を撃破し、南方ではクリシュナ川に至る領域を支配した。また、この時期にはローマ帝国との季節⁽⁵⁾風貿易も盛んに行われ、西海岸を中心に都市が繁栄した。サータヴァーハナ朝は北方から多数の [6] を招き、 [6] を頂点とするヴァルナ制による社会秩序を導入するなど積極的にアーリヤ文化を導入したが、一方で仏教も盛んであり、大乘仏教の理論を確立したナーガールジュナ（竜樹）もこの王朝の保護を受けた。また、南インドの人々は香料などを求めて東南アジアに來航し、中国の人々も香料や犀角などを求めて東南アジアを訪れるようになった。これらを背景にメコン川下流域に [7] が、ベトナム中部にはチャンパーが発展した。 [7] の外港オケオからはローマの金貨、ヒンドゥー教の神像、後漢の鏡などが出土しており、盛んに交易が行われたことがうかがえる。

D 前漢⁽⁶⁾の滅亡後、1世紀前半に劉秀（光武帝）によって後漢が建てられた。後漢は前漢末から新の時代にかけて途絶していた西域経営を再開し、 [8] を西域都護に任命した。彼は西域に約30年駐在し、50余りの国を従えることに成功した。また、彼はローマ帝国との直接交渉をはかり、1世紀末に部下の甘英をローマ帝国に派遣した。甘英はパルティアを経て現在のシリアとされる条支国に到達したが、大海に阻まれ引き返したとされている。一方『後漢書』西域伝には、⁽⁷⁾166年、大秦王 [9] の使者と称するものが現在のベトナム中部である日南郡に到達したという記録がある。この大秦王 [9] はローマ皇帝マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝とされている。このように後漢の時代にはユーラシア大陸の東西の帝国間の交流がみられた。しかしローマが五賢帝時代が終了した2世紀後半以降衰退期を迎えたのと同様、後漢も2世紀後半に太平道の張角が指導した [10] の乱によって衰退し、滅亡へと向かっていった。

問1 文中の [1] ～ [10] に最も適切な語句を入れよ。

問2 下線部(1)に関連して、この道を通してインドを訪れ、旅行記『仏国記』を著した中国僧として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア．仏図澄 イ．玄奘 ウ．義浄 エ．法顕

問3 下線部(2)に関連して、ローマ帝政後期に盛んに行われるようになった、小作人を使用した農業生産体制を何というか。

問4 下線部(3)に関連して、中央アジアのサマルカンドを拠点として活躍したイラン系商業民族の名称として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. ウイグル人 イ. フェニキア人 ウ. ソグド人 エ. アムル（アモリ）人

問5 下線部(4)の王朝について述べた文のうち誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. ホスロー1世によって建国され、クテシフォンを都とした。

イ. ゴロアスター教が国教とされ、聖典『アヴェスター』が編纂された。

ウ. シャープール1世は、ローマ皇帝ヴァレリアヌスを捕虜とした。

エ. ニハーヴァンドの戦いで、イスラーム勢力に敗北した。

問6 下線部(5)に関連して、1世紀中頃にエジプト在住のギリシア人が著したとされる、この貿易の様子を現在に伝える重要史料は何か。

問7 下線部(6)の王朝について述べた文のうち誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. 項羽を破った劉邦によって建国された。

イ. 大月氏と同盟を結んで匈奴を攻撃した。

ウ. 武帝の時代に、塩・鉄・酒の専売が行われた。

エ. 外戚の王莽によって帝位を篡奪された。

問8 下線部(7)に関連して、この年と169年に後漢で起こった一連の宦官による官僚弾圧事件を何とよめるか。

世界史 B の問題は次のページに続く。

- 2 セム系一神教の成立と発展について述べた次の文章 A～C を読み、1 ～ 10 に最も適切な語句を入れ、下線部(1)～(6)に対応する後の問い（問1～6）に答えよ。（配点 22点）

A 古代オリエントにおいては、多くの民族が複数の神々を崇拝する多神教の信仰をもっていたが、⁽¹⁾そのなかでセム系のヘブライ人は、一神教を信仰した民族であった。彼らの民族宗教であるユダヤ教は、キリスト教やイスラーム教の成立に大きな影響を与えた。

ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教は、「アブラハムの宗教」と呼ばれることもあり、ユダヤ教の教典である『1』の「創世記」によると、ノアの子孫とされるアブラハムは神の命を受けて現在のパレスチナであるカナーンへ向かい、神からその地を与えられた。これが「アブラハムと神の契約」と呼ばれ、ユダヤ教の源流となった。

『1』によると、前1500年頃、パレスチナに定住したヘブライ人の一部はエジプトへ移住したが、前13世紀頃、エジプト新王国のファラオによる迫害に苦しんだヘブライ人はエジプトを脱出した。その途中、指導者2はシナイ山で唯一神ヤハウェから十戒を授かり、その遵守と引き換えにヘブライ人が救済されるという「シナイ契約」を交わしたとされている。

前11世紀末頃、ヘブライ人はサウル王のもとでヘブライ王国を建国した。第2代の3王、第3代のソロモン王の時代にかけてヘブライ王国は大いに栄えたが、ソロモン王の死後、ヘブライ王国は南北に分裂した。その後、北のイスラエル王国は前722年にアッシリアに滅ぼされ、南のユダ王国も前586年に新バビロニアに征服された。

前538年、アケメネス朝のキュロス2世によって解放されたヘブライ人はヤハウェの神殿を再興し、選民思想・メシア信仰・戒律主義などを特色とするユダヤ教が確立していった。

B 前1世紀、パレスチナはローマのポンペイウスによって占領された。そして、元老院によって任命されたヘロデ王の時代にイエスが生まれたとされる。イエスはパリサイ派の選民思想や戒律主義を批判し、神への絶対愛と隣人愛を説き、神の国の到来や⁽²⁾「最後の審判」を説いた。人々はイエスをメシア（救世主）と信じたが、イエスの教えはパリサイ派と対立したため、イエスはローマへの反逆者として総督ポンティウス＝ピラトゥスに訴えられ、紀元後30年頃にゴルゴタの丘で^{たづけい}磔刑となった。しかし、その後弟子たちの間でイエスは復活したとの信仰が生まれ、これを中心にキリスト教が成立した。

キリスト教は、後に初代ローマ教皇と位置づけられるペテロや、「異邦人の使徒」と呼ばれるパウロらによって⁽³⁾ギリシアや小アジア・シリアなどにも布教された。当時のローマは多神教で、皇帝も神の1人とされたため、頑強に国家祭祀に参加しないキリスト教徒は時には厳しい弾圧を受けたが、彼らは4と呼ばれる地下墓所で密かに信仰を続けた。

その後、キリスト教が下層市民・女性・奴隷などに加え、上層市民にも信仰されるようになると、コンスタンティヌス帝は、313年に を発布し、キリスト教を公認した。さらにコンスタンティヌス帝は、教義統一の必要性から325年にニケーア公会議を開催し、アタナシウスの説を正統、アリウスの説を異端とした。

ゲルマン人の侵入による混乱のなか、4世紀後半にユリアヌス帝が古来の神々の復興を企てキリスト教を迫害しようとしたが失敗し、ついにテオドシウス帝は392年にキリスト教を国教化してその他の全異教信仰を禁止した。その後、キリスト教会の組織化が進行し、聖職者身分が成立した。また、『告白録』や『神の国』の著者である を代表とする教父たちは、キリスト教の教義確立に貢献した。

C 7世紀になると、ユダヤ教・キリスト教と同じ唯一神を信仰するイスラーム教がアラビア半島で成立した。メッカのクライシュ族ハーシム家に生まれたムハンマドは、隊商交易に参加してユダヤ教やキリスト教の影響を受けた。そして、自らが唯一神アッラーの啓示を受けた預言者であると自覚し、多神教と偶像崇拝を否定して厳格な一神教であるイスラーム教を創始したが、同じクライシュ族の迫害を受け、 年にはメッカからメディナへ逃れた。この事件をヒジュラという。その後、ムハンマドはメッカを征服してカーバ神殿をイスラーム教の聖殿とし、アラビア半島を統一した。

632年にムハンマドが病死すると、ムスリムはムハンマドの後継者としてカリフを選出した。イスラーム勢力は、カリフの指導のもとでジハードと呼ばれる征服活動を行い、バスラなどの征服地には軍営都市であるミスルが建設された。⁽⁴⁾ 正統カリフ時代には、イスラーム教の教典である『コーラン』も編纂された。イスラーム教において、ユダヤ教・キリスト教の『旧約聖書』『新約聖書』は、『コーラン』に先立つ神の啓示の書とされ、ユダヤ教徒・キリスト教徒は、ジズヤと呼ばれる人頭税の支払いを条件に啓典の民として信仰の自由を認められ、イスラーム教徒と共存した。

第4代正統カリフの が暗殺されると、彼と対立していたシリア総督 は都をダマスカスに定めてウマイヤ朝を創始し、カリフを世襲化した。ウマイヤ朝は、 王国を711年に征服してイベリア半島を支配下に入れ、ピレネー山脈を越えて732年トゥール・ボワティエ間の戦いでカール＝マルテル率いるフランク王国軍と戦ったが敗北した。ウマイヤ朝では、アラブ人が免税特権を有し、征服地の住民に人頭税であるジズヤと地租であるハラージュが課せられ、たとえ彼らがイスラーム教に改宗したとしても免除されることはなかった。アラブ人第一主義と呼ばれるウマイヤ朝のこの政策に対し、イスラーム教への改宗者であるマワリーやアラブ人内部での批判もあり、750年にウマイヤ朝は⁽⁵⁾アッバース朝によって滅ばされた。

アッバース朝の初代カリフであるアブー＝アルアッバースは、ムスリムであれば非アラブ人であってもジズヤを免除し、アラブ人でも征服地に土地をもつ者にはハラージュを課すことでムスリ

ム間の平等を実現した。アッバース朝は、第5代カリフのハールーン＝アッラシードの時代に、イスラーム文化の黄金時代を迎えたが、その没後、エジプトやイランで王朝が独立して衰退した。そして1258年、モンゴル帝国の西征によってアッバース朝は滅亡した。

(6)

問1 下線部(1)に関連して、古代オリエントの文化・政治について述べた文のうち正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. メソポタミアでは来世観が強く、死後オシリスによる審判に備えて「死者の書」を残した。
- イ. エジプトのファラオは太陽神ラーの子とされ、専制的な神権政治を行った。
- ウ. アッシリアのハンムラビ王が制定した法典は同害復讐法を原則としたが、被害者の身分によって刑罰は異なっていた。

エ. 新王国時代に建設されたピラミッドのなかで、最大のものはクフ王のピラミッドである。

問2 下線部(2)に関連して、ゾロアスター教の「最後の審判」の思想はユダヤ教に影響を与えたが、このゾロアスター教は後に中国に伝わって何と呼ばれたか。

問3 下線部(3)に関連して、古代ギリシアについて述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

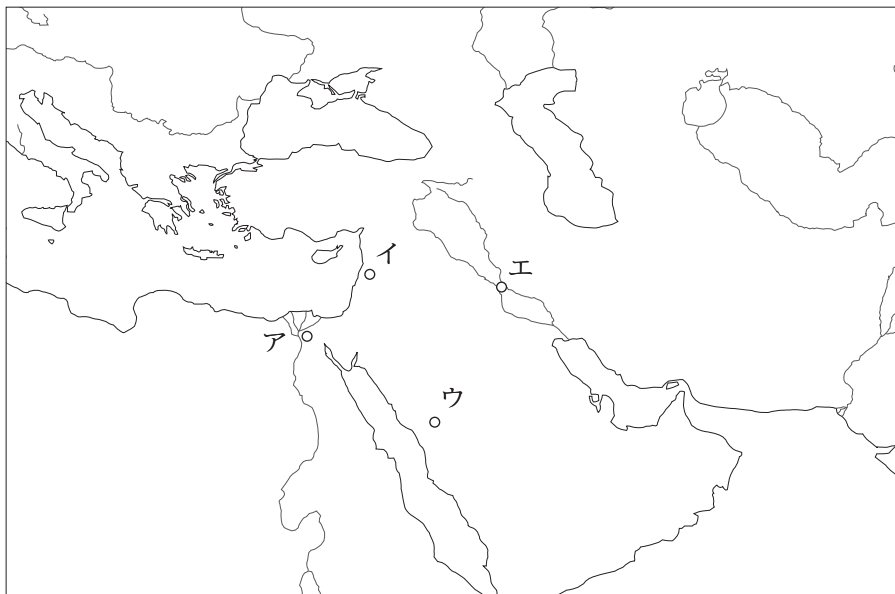
- a. ギリシア人は、クレタ島のトロイア（トロヤ）を中心にクレタ文明を築いた。
- b. ミケーネ文明で使用された線文字Bは、ヴェントリスらによって解読された。

ア. a — 正 b — 正 イ. a — 正 b — 誤

ウ. a — 誤 b — 正 エ. a — 誤 b — 誤

問4 下線部(4)に関連して、各地に建設されたモスクやマドラサの経営維持を目的として、有力者や政府などが寄付した土地などの信託財産を何というか。

問5 下線部(5)に関連して、アッバース朝第2代カリフのマンスールが造営した新都の位置として正しい場所を、次の地図のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。



問6 下線部(6)に関連して、モンケ＝ハンの命を受けて西アジアへ遠征し、アッバース朝を滅ぼした人物は誰か。

3 ビザンツ帝国の歴史について述べた次の文章を読み、1 ～ 6 に最も適切な語句を入れ、下線部(1)～(8)に対応する後の問い（問1～8）に答えよ。

（配点 22点）

395年にローマ帝国が東西に分かれた後、西ローマ帝国はゲルマン人⁽¹⁾の傭兵隊長であるオドアケルによって476年に滅亡したが、東ローマ帝国は政治・経済ともに安定した状況が続いた。都コンスタンティノープルの旧名であるビザンティウム⁽²⁾にちなんでこの国はビザンツ帝国とも称されるが、初期のビザンツ帝国の歴史はローマ帝国後期の延長線上にあったことを見過ごしてはならない。ビザンツ帝国では、ローマ帝国時代に整備された専制君主政と官僚機構が維持されており、皇帝が「地上における神の代理人」としてキリスト教会を監督する体制も受け継がれた。6世紀前半には、1 が古代ローマ帝国の栄光の再現をめざし、各地に軍隊を派遣して、イタリアの東ゴート王国や北アフリカのヴァンダル王国を滅ぼすなど、地中海世界の再統一に成功した。また、法学者トリボニアヌスに命じて『ローマ法大全』を編纂し、古代ローマ法を集大成した。

しかし、6世紀後半から7世紀にかけて、帝国は周辺諸民族の侵入により危機的な状況に陥った。北イタリアには 2 人が侵入して王国を樹立し、バルカン半島では北方からスラヴ人⁽³⁾が南下して定住するようになった。さらに、地中海世界に侵入したイスラーム教徒によりシリアやエジプトなど重要な属州を失った⁽⁴⁾。この動乱のなかでローマ帝国から継承した専制君主政は崩壊し、領土の縮小により帝国は次第にギリシア的・東方的性格を強め、7世紀以降は公用語も 3 語からギリシア語へと変わった。

8世紀に入ると、 4 によって発布された聖像禁止令⁽⁵⁾をめぐる、帝国およびコンスタンティノープル教会と、ローマ教会との対立が深まった。9世紀中頃に聖像禁止令は解除されたが、その後東西教会の分裂は決定的となり、ビザンツ皇帝がコンスタンティノープル総主教の任免権をもつギリシア正教会と、ローマ教皇を頂点とするローマ＝カトリック教会⁽⁶⁾とに分裂した。このような状況のもと、ギリシア正教会は、ゲルマン民族の大移動の後、東ヨーロッパやバルカン半島に侵入・定着していたスラヴ系民族への布教を本格化した。その結果、南スラヴのセルビア人はビザンツ帝国に服属してギリシア正教に改宗し、アジア系のブルガール人も先住のスラヴ人に同化するとともにギリシア正教に改宗した。また、ロシアではノルマン人が建国したキエフ公国が東スラヴと同化し、10世紀末⁽⁷⁾にはキエフ公の 5 がビザンツ皇帝の妹と結婚してギリシア正教を国教と定めた。このように東ヨーロッパの多くの国々が、ギリシア正教化されてビザンツ文化を受け入れるようになった。こうしてここに、独自の文化圏としての東ヨーロッパ世界が成立した。

9世紀中頃から11世紀中頃にかけて、帝国はマケドニア朝のもとで大いに勢力を拡大し、イスラーム勢力の支配下にあった南イタリアおよびクレタ島を奪回するとともに、第1次ブルガリア帝国を併合するなど、帝国の版図は、東方はティグリス・ユーフラテス両河上流、北方はドナウ川に達した。

こうして帝国は繁栄を取り戻し、宮廷を中心に古典文化の復興がみられたが、その陰では大土地所有の進展による自由農民の没落など社会の変質が始まっており、11世紀中頃になると皇帝位をめぐる激しい権力争いなどにより帝国は再び混乱した。

11世紀後半、6 朝が東方から侵入すると、皇帝はヨーロッパのキリスト教国にイスラームの脅威を訴え、ローマ教皇に援軍を求めた。これが発端となつて十字軍の遠征が始まったが、帝国の混乱は一層深まった。⁽⁸⁾

問1 下線部(1)に関連して、ゲルマン人について述べた文のうち誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. ガリア東南部に建国したブルグンド王国は、フランク王国に滅ぼされた。

イ. アングロ＝サクソン人は、ブリテン島に七王国を建国した。

ウ. カエサルが著した『ゲルマニア』は、古ゲルマン研究の重要史料である。

エ. フランク人を統一したクローヴィスは、メロヴィング朝を樹立した。

問2 下線部(2)に関連して、ギリシア人植民市として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. カルタゴ イ. ネアポリス ウ. ルテティア エ. ヴィンドボナ

問3 下線部(3)に関連して、スラヴ人について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

a. 西スラヴ系のポーランド人は、ギリシア正教に改宗した。

b. チェック人によって建国されたベーメン王国は、神聖ローマ帝国に編入された。

ア. a — 正 b — 正 イ. a — 正 b — 誤

ウ. a — 誤 b — 正 エ. a — 誤 b — 誤

問4 下線部(4)に関連して、イスラーム勢力の侵入に対応するために施行された地方統治制度を何というか。

問5 下線部(5)に関連して、キリストや聖者などを描いた、ギリシア正教会の聖像画を何というか。

問6 下線部(6)に関連して、中世のローマ＝カトリック教会について述べた文のうち正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. 教皇グレゴリウス1世は、カール大帝にローマ皇帝の冠を授けた。

イ. 10世紀に成立したクリュニー修道院は、教会肅正運動を展開した。

ウ. 教皇ハインリヒ4世は、皇帝グレゴリウス7世を破門した。

エ. リューリクは、モンテ＝カシノに修道院を創立した。

問7 下線部(7)に関連して、10世紀に教皇から帝冠を受けて、初代神聖ローマ皇帝となった人物は誰か。

問 8 下線部(8)に関連して、第 3 回十字軍が行われた原因について、30字以内で説明せよ。

世界史 B の問題は次のページに続く。

- 4 中国王朝と周辺諸国の歴史について述べた次の文章 A～D を読み、1 ～
6 に最も適切な語句を入れ、下線部(1)～(10)に対応する後の問い（問 1～10）に
答えよ。（配点 22点）

A 中国周辺諸国の首長は、古くから中国の皇帝に対して朝貢を行い、皇帝は彼らに爵位や官位を与えて、その地域の支配権を認め、君臣関係を結んだ。これを冊封体制と呼ぶ。冊封体制は、中国を中心とする諸国家間の秩序を維持し、周辺諸国の国内秩序を安定させ、また貿易や文化交流を促した。後漢では、光武帝が日本列島にあった倭の奴国から貢物を受けて金印を授けた。次いで三国の(1)魏は邪馬台国の 1 に親魏倭王の称号を与えた。西晋末には中国に侵入して王朝を建てた周辺民族もいたが、(2)彼らは次第に中国文化と同化し、中華の伝統を受け継ぐ王朝をつくった。これらの王朝も中国王朝の一つとして権威をもち、周辺諸国からの朝貢を招いた。また日本や朝鮮などの周辺諸国の首長たちも自らの支配の正統性を確保するため、南北朝時代の諸王朝に朝貢を行った。

問 1 下線部(1)に関連して、製紙法を改良したとされる後漢の宦官は誰か。

問 2 下線部(2)に関連して、五胡の侵入を招いた西晋末の一族諸王の内乱を何というか。

問 3 下線部(3)に関連して、漢化政策を行った北魏の孝文帝は平城からある都市へ遷都した。その都市はどこか。

B 冊封体制は時に中国と周辺諸国との紛争の原因ともなった。隋の第 2 代皇帝煬帝は朝鮮半島北部の高句麗に対し、朝貢に消極的であったことを口実に遠征軍を送った。しかし、この遠征軍は高句麗に撃退された。その後、唐は(4)突厥や吐蕃を服属させたあと、新羅と結んで百済や高句麗を滅ぼした。このように周辺地域に影響力を拡大するなかで、(5)唐は服属した周辺民族を支配するため、都護府を設置し、間接統治を行った。また、唐は支配した周辺地域の首長に爵位や官位を与えて朝貢を促した。その結果、朝鮮半島の三国時代を統一した新羅、朝鮮半島北部や中国東北部を支配した 2 , 現在の雲南省を中心に建国した 3 などは唐の冊封を受け、唐の文物や制度を取り入れた。さらに唐の影響は東南アジアにもおよび、ベトナム中南部のチャンパー、カンボジアの真臘なども唐に朝貢した。日本は冊封を受けなかったが、遣唐使を送って、積極的に唐の政治制度や仏教文化を取り入れた。こうして唐を中心とする東アジア文化圏が形成された。

問4 下線部(4)に関連して、隋代について述べた文のうち正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. 九品中正が制定され、豪族が上級官職を独占するようになった。

イ. 均田制が施行され、耕牛にも給田された。

ウ. 文帝は南朝の陳を滅ぼして、中国を再統一した。

エ. 文帝の時に、黄河と淮河を結ぶ大運河である通済渠が開通した。

問5 下線部(5)に関連して、6世紀に突厥とササン朝に挟撃され滅んだ騎馬遊牧民を何というか。

問6 下線部(6)に関連して、唐代に周辺地域に設置された都護府のうち、ベトナムに置かれた都護府を何というか。

C 10世紀初め、中国では唐が滅び、五代十国の分裂時代を迎えた。この混乱のなかで周辺民族は次第に自立しはじめた。モンゴル高原では、契丹の耶律阿保機が遼を建国し、後梁に対抗して自ら皇帝と名乗った。その後、遼は後晋の建国を助けた代償として 4 を獲得し、北宋が成立すると、その北辺を脅かしつづけた。そして、1004年には北宋と澶淵の盟を結んで北宋を兄、遼を弟とし、周辺地域に勢力を拡大していった。また⁽⁷⁾北宋は文治主義を採用したので軍事力が低下し、チベット系タングートの 5 の圧迫を受けるようになった。このように北宋は周辺諸国に対して政治的な影響力を弱めていったが、中国文化・制度はその後も周辺諸国に影響を与えつづけた。例えば、⁽⁸⁾高麗は儒学を重んじ科学を本格的に導入し、中国の歴史書を参考にして、紀伝体形式の『三国史記』を編纂した。ベトナムの李朝でも科学が行われたほか、儒学や中国仏教が奨励された。

問7 下線部(7)に関連して、北宋では、王安石が新法と呼ばれる諸政策を行った。新法について述べた文のうち誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. 均輸法は、流通の円滑化と物価の安定をはかった。

イ. 市易法は、中小農民への低利融資を行った。

ウ. 保甲法は、兵農一致と治安維持を目的とした。

エ. 募役法は、地主などに免役銭を出させ、労役希望者の雇用のための財源とした。

問8 下線部(8)に関連して、高麗時代に形成された、特権身分の官僚階級を何というか。

D 13世紀後半、モンゴル帝国のハン位についたフビライ（世祖）は、都をカラコルムから⁽⁹⁾大都に遷都し、1271年には国号を元と改め、中国式官制を採用した。次いでフビライは元を中心とする朝貢体制を構築するため、二度にわたって日本を攻めた。この間に南宋を攻撃して、1279年に厓山の戦いで南宋を滅ぼし、中国の統一支配を実現した。さらに東南アジアにも遠征し、ミャンマー（ビルマ）の 6 朝は弱体化して、やがて滅んだ。一方、ベトナムやジャワへの遠征には失敗し

た。しかし、元の目的は、東南アジア諸国の征服であったわけではなく、遠征を通じて、東南アジア諸国家の元への朝貢促進と通商ルートを確保することにあった。この結果、14世紀には元を中心としたアジアとヨーロッパにまたがるユーラシア交易圏が形成されることになった。

問 9 下線部(9)に関連して、1294年に大都に来訪し、中国で初めてカトリックを布教したイタリア人宣教師は誰か。

問10 下線部(10)に関連して、唐の中期以降に海上交易が盛んになるにつれて、海上貿易全般に関する事務を管轄する役所が設置された。この役所を何というか。

世界史 B の問題は次のページに続く。

5 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。(配点 10点)

ヘロドトスの『歴史』によれば、アケメネス朝の遠征軍の到来に際してアテネはデルフォイ（デルフィ）の神託を求めたが、神託の解釈をめぐり、アクロポリスに立てこもって戦うことを勧めたものとする派と海戦を勧めたものとする派に分かれた。この時、神託は海戦の準備を勧めたものであるとしてアテネの人々を説得したのが、テミストクレスであった。

次に引用するのは、その部分に続く『歴史』の記述である（ただし、適宜省略し、書き改めた箇所がある）。

これより以前にも、テミストクレスが時宜にかなった説を唱えて、大勢を制したことがあった。それはラウレイオンの鉱山からの収益である多額の金のアテナイ（アテネ）の国庫を潤したので、市民一人あたり十ドラクマずつ配当しようとした時のことである。この時テミストクレスはアテナイ人を説いてこの分配を中止させ、この金で戦争に備えて二百隻の船を建造させることに成功した。アテナイは否応なく海軍国となったのであり、それによって今やギリシアが救われることになったのであった。従って当時アテナイには、これらの艦隊がすでに完成していたのであったが、さらに多くの艦船を追加建造する必要があった。そこでアテナイでは神託を受けた後協議した結果、神託の趣旨に添い、アテナイと志を同じくする他のギリシア人との協力のもとに国の総力を挙げ、ギリシアに侵攻してくる異国の王を水師によって迎え撃つことに決したのである。

問 異国の王を水師（海軍）によって迎え撃った戦いの名を挙げつつ、それがその後のアテネ内部に及ぼした影響と、ギリシアの政治情勢に及ぼした影響について180字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。なお解答には、下記の語を必ず使用し、用いた語句には下線を施すこと。

無産市民

デロス同盟

日本史Bの問題は次ページから始まる。

日本史 B

1 次の文章を読んで、下記の問い(問1～9)に答えよ。(配点 20点)

5世紀半ば以降、ヤマト王権による地方支配は著しく進展していく。とりわけ、6世紀前半の筑紫磐井との戦いの勝利を経て、畿内勢力による畿外への支配体制の構築が一層進んだ。⁽¹⁾大王を政治的首長として推戴してきた畿内の豪族らは、畿外の豪族らをも包摂した権力の樹立を目指した。⁽²⁾豪族の所有する土地と人民を国家の土地と人民すなわち公民として課税対象とすることで、律令国家の形成が実現する。その始点である大化の改新は、地方豪族に対する支配の強化に重点を置いた改革であったと考えられる。その象徴的な例が、旧来の国造が支配していた領域を分割して新たな(3)という行政単位を作ったことである。その役人として、旧来の国造だけではなく、その支配下にあった中小の地方豪族も起用され、改新政府が地方豪族間の支配秩序を再編成し、新政府の権力基盤を拡大する役割を果たしたといえる。そして、地方豪族による土地と人民の支配を容認したまま政治改革をおこない、彼らに対する支配を強化しようとしたのである。そうした地方豪族への支配の拡大を示す象徴的な事例は、663年の百済救援軍の主体がこうした西国の地方豪族の兵力であったこと、あるいは、律令国家の建設に向けての一大試練といえる内乱⁽⁴⁾では、美濃に拠点を持つ大海人皇子が、美濃をはじめとする東国の豪族の兵力を動員して勝利を得たことなどが挙げられよう。大海人皇子が即位して天武天皇となると、全国的人民支配のための地方行政組織の整備に着手し、諸国の境界を確定させている。改新政府以来の(3)制を前提に、その上位に国という行政区分を確定して、のちの国司に相当する国宰による地方支配を推し進めたのである。

大宝律令では、全国を国・郡・里⁽⁵⁾という行政単位に分けたが、この方式が全国的に実現したのは平城遷都前後のことで、さらに717年に令制の里を郷に名をかえ複数の里に分割したのも、地方支配の強化を目的としたものと考えられる。地方支配の中心は郡司にあり、その政務を執る郡衙は、郡庁を中心に、穀物などを保管する施設である(6)が設置されたが、その構成には画一性はなく、その地方の状況に左右されたと考えられる。その上部にあって国衙で統括するのが国司で、守・介・掾・目⁽⁷⁾からなり、その下に史生や雑任とよばれる職員が配置された。国衙は政庁である国庁を中心に(6)などの官衙群からなるが、正殿の前に儀式を行う広場があり、それを左右対称に建物で囲む画一的な施設で、郡衙とは大きく異なる特徴を持っていた。こうした国衙と郡衙の違いに、国司と郡司⁽⁸⁾の国家権力との関わり方の相違を見ることができる。

こうした律令制下の国司・郡司による地方支配のあり方は、9世紀後半から10世紀には大きく変貌することになる。その転換の結果は、地方官衙の変容がよく示している。郡衙は一様に衰えて消滅に向かい、一方で国衙は拡大してその機能が強化されていくのである。⁽⁹⁾

問1 下線部(1)について、この乱の以降に設置が進んだヤマト王権の直轄地を答えよ。

問2 下線部(2)に関して、毛野氏など地方の有力豪族に与えられた姓を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 臣 イ 連 ウ 君 エ 直

問3 空欄(3)にあてはまる語を、漢字1字で答えよ。

問4 下線部(4)について、この内乱を何というか答えよ。

問5 下線部(5)について、一里は何戸から構成されたか、漢数字で答えよ。

問6 空欄(6)にあてはまる語を、漢字2字で答えよ。

問7 下線部(7)について、このような律令制下の諸官司に共通する官制を何というか答えよ。

問8 下線部(8)について、両者の相違はその任用の仕方にもみることができる。この両者に任用される者の出自の違いを、40字以内で説明せよ。

問9 下線部(9)について、このような状況を生み出した政府の政策転換について、30字以内で説明せよ。

2 次の文章を読んで、文中の空欄(a)～(j)に該当する語句を、下の語群からそれぞれ一つずつ選んで番号で答えよ。(配点 20点)

天武天皇の死後、天皇の政治を補佐し発言力をもっていた皇后が政治を執った。天武天皇と皇后との間には皇太子草壁皇子がいたが、彼は即位しないまま病死した。そこで皇后は、草壁皇子の子である幼き軽皇子に皇位を継承させようとし、皇子の成長を待つため自ら天皇に即位した。これが持統天皇である。やがて持統天皇は成長した軽皇子に皇位を譲り、太上天皇として共に政治を行った。こうして即位した文武天皇には、即位直後に藤原不比等の娘(a)が夫人として後宮に入って、2人の間には首皇子が生まれた。首皇子の将来の即位は、不比等の願望であるとともに、草壁嫡系による皇位継承を存続させようとする持統太上天皇の意図するところでもあった。しかし、幼き首皇子を残して、持統太上天皇、続いて文武天皇が相次いで亡くなった。その結果、文武の母の(b)天皇が即位することとなった。首皇子の祖母にあたる(b)天皇と、叔母にあたる元正天皇の2代の天皇の治世は、首皇子の即位を待つための中継ぎとして女性天皇が即位した時代だったといえる。

やがて不比等の娘光明子が皇太子首皇子の妃になり、藤原氏は天皇家との姻戚関係を強めて政治権力の強化を図った。724年、元正天皇の譲位をうけて首皇子が聖武天皇として即位し、その3年後に光明子との間に皇子が産まれると生後すぐに皇太子に立てられた。しかし、翌年、この皇子は夭折し、皇位継承者は失われてしまった。その後、(c)が謀叛の疑いで自殺に追い込まれる事件がおこった。これは光明子立后のために藤原氏が打った布石であったともいわれるが、一方で皇族の(c)とその子が次代の有力な皇位継承候補者だったため、藤原氏により排除されたとも考えられている。

その後に政権を担当した不比等の子、南家の(d)ら四兄弟が疫病により相次いで没すると、橘諸兄が政治を主導するようになった。740年に藤原広嗣が僧(e)と吉備真備の排斥を求めて乱をおこすと、聖武天皇は先ず(f)に遷都し、その後短期間のうちに遷都を繰り返した。聖武天皇の不安は、皇位後継をめぐる問題にもあったといわれる。聖武天皇は、光明皇后との間に生まれた阿倍内親王を皇太子として立てたが、初めての女性皇太子でもあり、立場は不安定なものであった。

その後、聖武天皇は譲位を決め、阿倍内親王は孝謙天皇として即位した。しかし、政情は安定せず、聖武天皇の死後、光明皇太后の信任を受け政治を主導していた藤原仲麻呂は、自身の親族であり天武天皇の孫にあたる大炊王を皇太子に擁立し、自己の地位の強化を図った。こうした仲麻呂の専横に対し、諸兄の子の(g)は仲麻呂排斥の計画を立てたが、未然に発覚し失敗した。乱の混乱を収めた仲麻呂は、大炊王を淳仁天皇として即位させて絶大な権力を掌握した。

光明皇太后の死を契機に、仲麻呂と孝謙上皇との間が次第に不仲になり、仲麻呂は抗争に敗れて追討を受けた。淳仁天皇も廃されて(h)に流され、孝謙上皇が重祚して称徳天皇となった。称徳天皇は、皇太子を置かないまま国を治めることを宣言したため、皇位継承をめぐり政治的に不安定な状

況が続いた。称徳天皇は、僧道鏡を寵愛して法王とし、彼を皇位につけようとしたが、(i)の神の託宣が、真実は道鏡即位に反対するものとの和気清麻呂の報告により挫折した。770年の称徳天皇の死は、草壁皇子の嫡系による皇統継承の終焉を意味した。この後皇位は、藤原百川らの画策によって、天智天皇の孫にあたる(j)天皇が継承することとなった。

【語群】

- | | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|----------|
| 1 淡路 | 2 威子 | 3 石清水八幡宮 | 4 宇佐八幡宮 | 5 大津皇子 |
| 6 隠岐 | 7 鑑真 | 8 桓武 | 9 行基 | 10 恭仁京 |
| 11 玄昉 | 12 元明 | 13 皇極 | 14 光仁 | 15 斉明 |
| 16 嵯峨 | 17 佐渡 | 18 早良親王 | 19 紫香楽宮 | 20 橘奈良麻呂 |
| 21 橘成季 | 22 橘逸勢 | 23 対馬 | 24 定子 | 25 長屋王 |
| 26 難波宮 | 27 藤原京 | 28 藤原宇合 | 29 藤原房前 | 30 藤原冬嗣 |
| 31 藤原麻呂 | 32 藤原武智麻呂 | 33 藤原基経 | 34 藤原良房 | 35 宮子 |

3 次のA～Cの文章を読んで、下記の問い(問1～10)に答えよ。(配点 20点)

A 平安時代前期には、中国風の儀礼・学問が重んじられ漢詩文が隆盛した。ことに嵯峨朝期には、天皇みずからが詩壇の中心となり、最初の勅撰漢詩集である『(1)』が編纂された。その序文に記された「文章は経国の大業なり」とは、詩文がつくられ文芸がさかえることが国家経営のための大業であるという意味で、文芸そのものに国家の隆盛をになう高度な政治的役割が期待された。中国の歴史や漢詩文を学ぶ(2)を修めた官吏たちが重用され、宮廷の内外では漢文学が発展し、⁽³⁾文人・学者らが活躍した。このようななかで、有力氏族の間では大学の付近に⁽⁴⁾大学別曹をつくり、その子弟の教育の便宜を図った。

B 平安時代中期には、漢字を簡略化して生まれた仮名文字による文学が発達した。これにより、漢字だけでは十分に表現できなかった日本人の感覚や感情を、仮名を用いて表すことが可能となった。醍醐朝に最初の勅撰和歌集である『(5)』が編纂されたことを契機に和歌が隆盛し、また、仮名文字を用いた作品がさかんに作られた。摂関政治期の有力貴族が、天皇の外戚の地位を得ることを願い、後宮に入った娘のもとに文才のある女性を選び集めたことが、後宮の女性らによる文芸が発展する背景にあり、⁽⁶⁾『源氏物語』のような傑作の出現につながった。また、(7)が自らを女性に仮託し仮名で綴った紀行文である『土佐日記』を著して以後、女性らによる日記文学のすぐれた作品が生まれ、宮廷社会に生きる女性の哀歓、人生への内面的省察などが表現されるようになった。

C 平安時代後期には、貴族らは地方の動きや武士・庶民の姿に強い関心をもつようになった。戦乱を主題とした軍記物である『陸奥話記』には(8)の経過が記され、インド・中国・日本の説話を集めて著された説話集の『(9)』には、貴族、僧、武士、農民、遊女、盗賊などさまざまな人物が登場し、地方の民衆の生活や信仰のさまがいきいきと描かれている。それは、貴族層に属する著者の階層と庶民層の交流を抜きにしては成立しえないものであった。また、当時民間で流行した歌謡である「今様」を遊女らから学んだ(10)法皇が、『梁塵秘抄』を編纂したことにも、貴族層と庶民の文化との関わりがうかがえる。

問1 空欄(1)に該当する書名を答えよ。

問2 空欄(2)に該当する語句を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 明経道 イ 明法道 ウ 算道 エ 紀伝道

問3 下線部③に関連して、文人官僚の一人として嵯峨朝で活躍した小野岑守が知られるが、彼の建議によって大宰府管内に設置された政府の直営田の名称を答えよ。

問4 下線部(4)に関連して、和気氏の設けた大学別曹として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 勸学院

イ 奨学院

ウ 弘文院

エ 学館院

問5 空欄(5)に該当する書名を答えよ。

問6 下線部(6)の著者を答えよ。

問7 空欄(7)に該当する人物名を答えよ。

問8 空欄(8)に該当する戦乱名を答えよ。

問9 空欄(9)に該当する書名を答えよ。

問10 空欄(10)に該当する人物名を答えよ。

4 次の史料A～Eは、鎌倉時代の政治に関する史料を年代順に並べたものである。これらの史料を読んで、下記の問い(問1～15)に答えよ。なお、史料の表記は便宜上、改めたところがある。(配点 30点)

A (元暦元年十月)六日辛酉、(中略)未の刻、新造 ① の吉書始なり。安芸介中原広元別当として着座す。(中略)(藤原)邦通先づ吉書を書き、広元御前に披覧す。次で相模国中の神領・仏物等の事之を沙汰す。其の後院飯を行ふ。武衛出御す。^(a)千葉介経営し、公私引出物有り。(中略)

廿日乙亥、諸人訴論対決の事、俊兼、盛時等を相具し、且は之を召し決し、且は其の詞を注せしめ、申し沙汰すべきの由、大夫属入道善信に仰せらると云々。仍て御亭東面の廂二ヶ間を点じ、其の所と為し、 ② と号し、額を打つと云々。

(注)「元暦元年」は1184年。「吉書始」とは役所ではじめて政務を行い書類を出す儀式。

「安芸介中原広元」とは、大江広元、「大夫属入道善信」とは、三善康信のこと。

B (③ 三年)五月十九日壬寅、(中略)右京兆の館に於て、相州、武州、前大膳大夫入道、駿河前司、城介入道等評議を凝らし、意見を区分す。所詮足柄、管根両方の道路を固関し、相待つべきの由と云々。大官令覚阿云く、(中略)運を天道に任せ、早く軍兵を京都に発遣せらるべしてへり。右京兆両議を以て二品^(c)に申すの処、二品云く、上洛せざれば、更に官軍^(d)を敗り難きか。安保刑部丞実光以下武蔵国の勢を相待ちて、連れて参洛すべしてへり。

(注)「前大膳大夫入道」と「大官令覚阿」とは、ともに大江広元のこと。

C (貞永元年)八月十日戊午、(中略)武州造らしめ給ふ御成敗式目^(e)其の篇を終へらる。五十箇条なり。今日以後訴論の是非、固く此の法を守り、裁許せらるべきの由定めらると云々。是則ち淡海公の律令に比すべきか。彼の者海内の亀鏡、是は関東の鴻宝なり。(中略)九月十一日戊子、晴、武州五十ヶ条の式条を以て、和字の御書を相副へ、六波羅^(g)に送り遣はさる。

(注)「和字の御書」とは、かな書きの書簡のこと。

D (建長四年)三月五日己丑、辰刻、京都の飛脚関東に参着す。是、先日上洛する使節和泉前司行方・武藤左衛門尉景頼奏聞に就き、宮御下向の事、去る一日より仙洞に於て連々其の沙汰有り。(中略)但し三歳の宮〈准後の腹〉、十三歳の宮〈大納言二品の腹〉両所の間何れの御方御下向有るべきやの事、之を尋ね仰せ下さるに依り、両六波羅馳せ申す所なり。奥州・相州等会合し、群議^(h)を経られ、十三歳の宮御下向あるべきの旨、之を申さる。⁽ⁱ⁾

E 弘安七年四月四日時宗三十四歳にして(中略)死去し畢んぬ。嫡子貞時生年十四歳にて、同七月七日彼の跡を継ぎて將軍の執權す。泰盛彼の外祖の儀なれば弥^{いよいよ} 僣^{よご}りけり。其の比貞時が ④ 平左衛門尉頼綱(中略)と申す有り。又權政の者にて有りける上に、僣りを健くする事泰盛にも劣らず、同八年四月十八日(中略)爰に泰盛、頼綱、中悪くして互いに失はんとす。共に種々の讒言を成す程に、(中略)終に泰盛法師(中略)弘安八年十一月十七日誅せられけり。
(k)

問1 空欄 ① と ② に該当する語句の組合せとして正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア ① — 侍所 ② — 蔵人所 イ ① — 侍所 ② — 問注所
ウ ① — 公文所 ② — 蔵人所 エ ① — 公文所 ② — 問注所

問2 下線部(a)に関連して、「神領」とは神社の所領のことだが、源氏の氏神を祭神として祀り、御家人結束の場ともなった神社名を答えよ。

問3 下線部(b)の人物について説明した文として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 俱利伽羅峠の戦いに勝利し入京して、征夷大將軍に任じられた。
イ 上京して右近衛大將に任じられたが、まもなく辞職した。
ウ 平治の乱後、奥州に下り藤原秀衡の保護を受けた。
エ 格調高い万葉調の和歌を含む『金槐和歌集』を編纂した。

問4 空欄 ③ に該当する年号(元号)を答えよ。

問5 下線部(c)の人物は「尼將軍」ともよばれた人物だが、その氏名を答えよ。

問6 下線部(d)に関連して、「官軍」を組織した時の上皇が院御所警備の名目で新たに設置したものを答えよ。

問7 下線部(e)の人物は、執權就任後に叔父を自らの補佐役につけた。この職名を答えよ。

問8 下線部(f)において、公正な裁判を実現するため基準とされた武家社会の慣習・道徳を何というか、漢字2字で答えよ。

問9 下線部(g)に関して、「武州の弟」で、当時、六波羅探題の地位にあった人物として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 北条実時 イ 北条重時 ウ 北条時政 エ 北条時宗

問10 下線部(h)の人物は時の執權である。史料D以前にこの執權と対立して滅ばされた人物を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 三浦泰村 イ 和田義盛 ウ 梶原景時 エ 比企能員

問11 下線部(i)に関連して、下線部(h)が執權の時代に御家人の所領に関する訴訟に専従するため、ある役職が幕府内に設置されたが、その役職名を漢字3字で答えよ。

問12 下線部(j)に関して、この時鎌倉に「御下向」した「宮」の名を答えよ。

問13 空欄

④

 に該当する語句を答えよ。

問14 下線部(k)の戦乱名を答えよ。

問15 史料E以後の鎌倉幕府の政治・政策について説明した文として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 九州の御家人に課された異国警固番役は、「貞時」によって停止された。

イ 九州の御家人の統率と訴訟を裁決するために、鎮西奉行が設置された。

ウ 元寇のために窮乏した御家人や凡下を救済するために、永仁の徳政令が発布された。

エ 持明院統と大覚寺統に分裂した天皇家に対して、両統迭立を提案した。

日本史Bの問題は次ページに続く。

5 次の問いに答えよ。(配点 10点)

墓のあり方には、被葬者の社会的立場があらわれており、そこから当時の社会や政治権力のあり方を探ることができる。弥生時代から4世紀初頭にかけての墓制の変遷と、そこから読み取れる社会の変化について120字以内で述べよ。その際、以下の語句を必ず一度は用い、使用したところに下線を付せ。

副葬品

甕棺墓

前方後円墳

地理Bの問題は次ページから始まる。

地 理 B

1 世界と日本の地形と自然災害に関する次の文章を読み図を見て、下の問い（問1～5）に答えよ。（配点 25点）

大地形の形成や地殻変動、火山活動は、プレートの相対運動によって生じた 1 営力が原動力であると考えられる。

プレートの境界は広がる境界、狭まる境界、ずれる境界の3つに分けられる。広がる境界は、主に大西洋、インド洋、太平洋の海底にあり、2 と呼ばれる大山脈をなしている。狭まる境界では、^(a)褶曲や断層などの造山運動によって高い山脈や 3 列島が形成され、これらを新期造山帯という。ずれる境界は、プレートが水平方向にずれ動くところで、アメリカ合衆国太平洋岸の 4 断層が典型例とされる。これらのプレート境界は、激しい地殻変動が起こる変動帯にあたり、^(b)地震や火山活動が頻発している。

古生代に活動し、およそ2億年前には活動を終えている造山帯が^(c)古期造山帯である。プレート運動の変化によりプレート境界でなくなって山脈が隆起しなくなり、その一方で、侵食作用を受け続けてきたため、低くなだらかな山地となっている。

古生代よりも古い先カンブリア時代に形成された陸地は^(d)安定陸塊で、変動が少なく地震や火山活動はほとんど起こらない。ここは、5億年以上にわたり侵食が続いたため、全体に平坦な地形となっている。

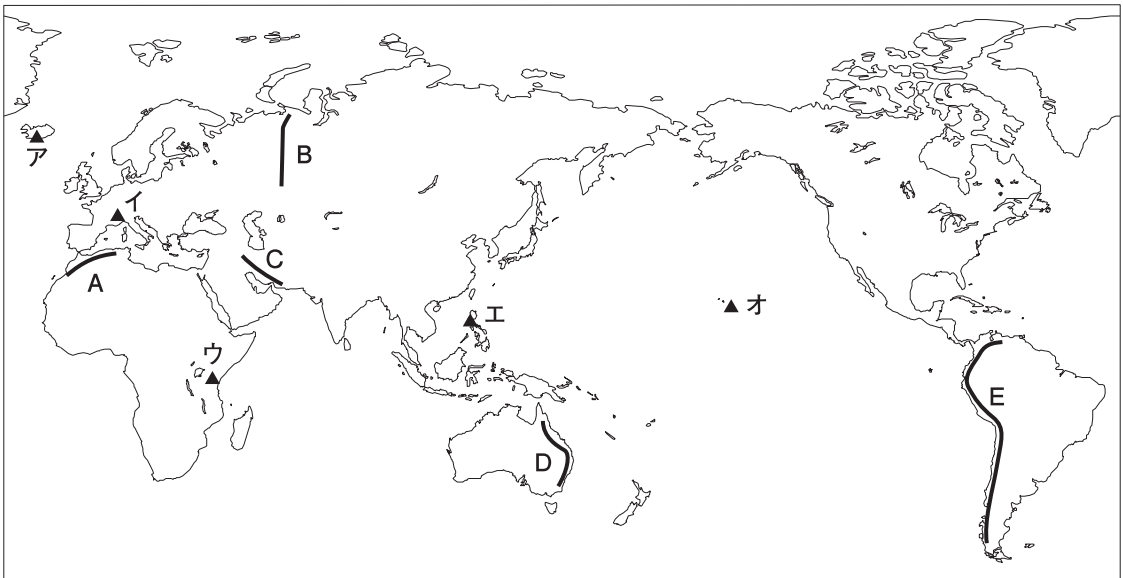


図 1

問1 文中の空欄 1 ～ 4 に適する語句を記入せよ。

問2 下線部(a)に関して、日本列島とヒマラヤ山脈はいずれも狭まる境界に位置する。下記の語句を適切に用い、2つのプレート境界について、その違いがわかるようにそれぞれ25字以内で説明せよ。なお、語句は繰り返し使用してよい。

語句 [大陸 海洋]

問3 下線部(b)に関して、次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 地震は、プレート境界のほか、数十万年前以降に繰り返し活動し、これからも活動する可能性のある断層に沿ったところで起こっている。このような断層を何と呼ぶか答えよ。

(2) 図1中のア～オの山のうち、火山でないものを1つ選び、記号で答えよ。

(3) 火山は噴火に伴って、溶岩のほか火山灰や火山ガスなどを放出し、鹿児島県には火山灰が厚く堆積する台地が広がる。ここでは、集中豪雨による崖崩れなどが起きやすい一方で、近世以降はサツマイモが栽培され、現在では茶の栽培地としても知られている。この台地の名称を答えよ。

問4 下線部(c)に関して、図1中のA～Eの山脈のうち、古期造山帯に該当するものを2つ選び、その記号と山脈名を答えよ。

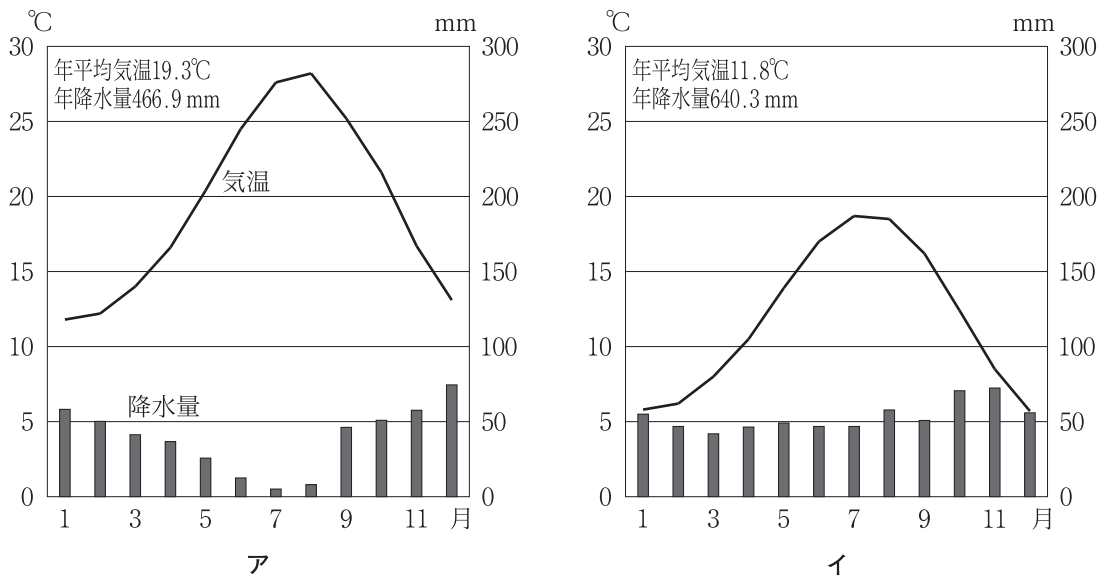
問5 下線部(d)に関して、安定陸塊に関する次の文章中の下線部①～⑤のうちから誤っているものを2つ選び、その番号を答えるとともに、誤りの語句に代わる正しい語句を答えよ。

安定陸塊のうち、先カンブリア時代の造山帯や火山帯が侵食され、その時代の基盤岩が露出しているところを^①卓状地といい、カナダのハドソン湾周辺やヨーロッパ北部の^②バルト海周辺の陸地がこれにあたる。

上記の周囲には、海面下で地層が堆積し、その後隆起して地表に現れたところがある。ここには水平な地層が徐々に削られてできた^③構造平野が広がる。北アメリカ中央平原や^④東ヨーロッパ平原がその例である。地層がわずかに傾斜し、硬層と軟層からなる場合は、軟層が侵食され硬層が取り残されて、一方が急崖、他方が緩傾斜面をなす丘陵を形成する。これを^⑤ビュートと呼ぶ。

2 気候区分と植生・土壌に関する次の問い（問1～5）に答えよ。（配点 25点）

問1 次の図1中のア・イは、湿潤気候に属する地点の雨温図である。ア・イの気候区を区分する方法について述べた下の文章中の空欄 **1** ～ **4** に区分の指標となる数値を答えよ。また、（ か ）～（ け ）には、該当する区分記号をあとの選択肢から1つずつ選べ。



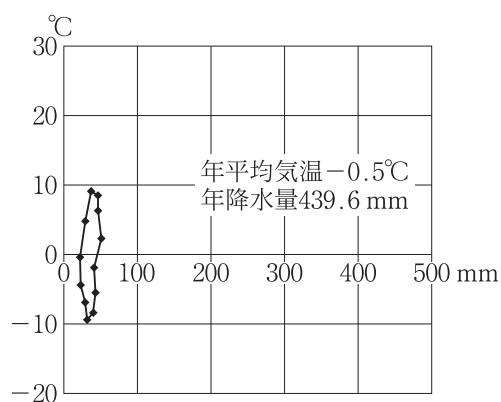
気象庁資料による。

図1

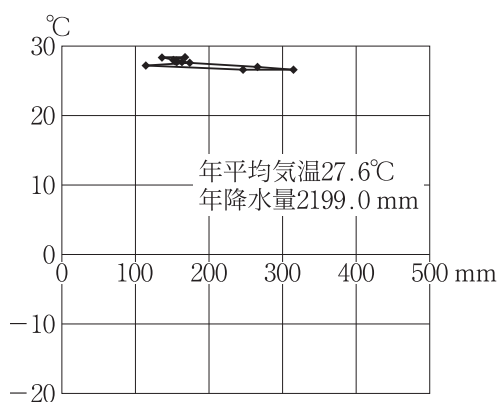
ケッペンの気候区分に基づくとき、ア・イはどちらも最寒月平均気温が **1** °C未滿、**2** °C以上という条件を満たすので（ か ）気候である。次に降水量の季節配分を見ると、アは冬季に降水量が多く、最多雨月降水量が最少雨月降水量の **3** 倍以上あるので（ き ）型、イはどの月も平均した降水があるので（ く ）型となる。また、イは最暖月平均気温が **4** °C未滿、かつ平均気温10°C以上の月が4か月以上あるので（ け ）である。

区分記号 [A B C D E a b c f s w]

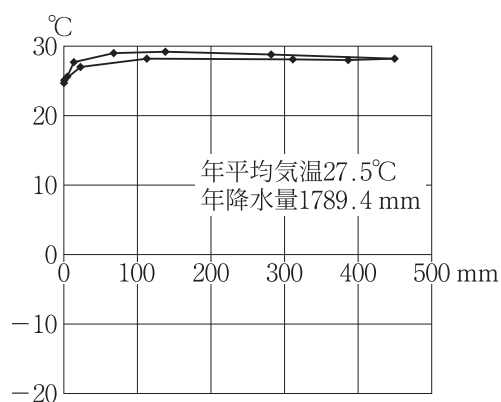
問2 次の図2中のサ～セは、異なった気候区に属する地点のハイサーグラフである。サ～セに該当する地点を、次ページの図3中の①～⑥のうちから1つずつ選び、番号で答えよ。



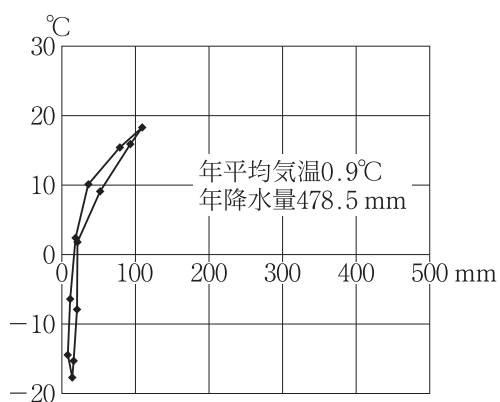
サ



シ



ス



セ

縦軸は気温、横軸は降水量。図中の点は1月～12月のいずれかであるが、月の表示は省略してある。
気象庁資料による。

図2



図 3

問 3 図 3 中の P・Q が位置する気候帯で共通して行われてきた伝統的な農牧業について，気候の特徴と関連づけながら，30 字以内で説明せよ。

問4 次の図4は、ヨーロッパとアフリカで見られる植生の分布を示したものである。これらの植生とそれに対応する土壌について述べた下の文章中の空欄 1 ～ 4 に該当する語句を答えよ。

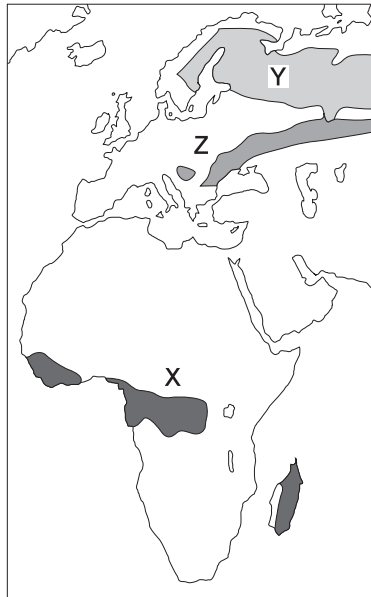


図4

Xは多種類の常緑 1 樹からなる密林が分布する地域で、(た) 色を呈する 2 と呼ばれる土壌が広がる。一方、Yには 3 樹からなる純林が分布し、(ち) 色を呈する 4 と呼ばれる土壌が広がる。X・Yに分布する土壌は、ともに気候条件により肥沃度が低い。一方、Zは乾燥気候と湿潤気候の境界付近に生長する草原で、図中で最も肥沃な土壌である (つ) 色土が分布する。

問5 問4の文章中の空欄 (た) ～ (つ) に該当する土壌の色の組合せを、次の①～⑥のうちから1つ選び、番号で答えよ。

- | | | | | | |
|--------|-----|------|--------|------|-----|
| ① た：赤 | ち：黒 | つ：灰白 | ② た：赤 | ち：灰白 | つ：黒 |
| ③ た：黒 | ち：赤 | つ：灰白 | ④ た：黒 | ち：灰白 | つ：赤 |
| ⑤ た：灰白 | ち：赤 | つ：黒 | ⑥ た：灰白 | ち：黒 | つ：赤 |

3 アジアの産業に関する次の文章を読んで、下の問い（問1～7）に答えよ。

（配点 25点）

アジアには砂漠から熱帯雨林まで多様な自然環境が広がるため、農業も多様で、さまざまな農産物が栽培される。アジアに特徴的な農業であるアジア式稲作は、^(a)アフリカや新大陸の穀物農業に比べて生産性が高いため人口扶養力が高く、同時に **イ** 集約的でもあるため農村人口が多い。

アジアは広大で、^(b)エネルギー資源や^(c)金属資源に恵まれる国も多い。工業では戦後いち早く高度経済成長を遂げた日本を追うように、1970年代からはアジア NIES、1980年代からは ASEAN 諸国が、^(d)輸出加工区^(e)の設置により、豊富な低賃金労働力を活かして輸出指向型の工業化を図り、経済が成長した。国内に巨大な人口を抱えるインドや中国は、戦後、国家主導で重化学工業を発展させてきたが、周辺各国の成長を受けて方針転換し、^(e)経済の自由化^(f)を図った。

1997年に **ウ** から始まったアジア通貨危機は、東アジア・東南アジア各国の経済成長を停滞させたが、その後各国は資本提携・産業内分業・部品調達などでますます連携を深めた。とりわけ電子機器の生産ではアジアのシェアが大きく、台湾のシンジュー（新竹）やインドのシリコンヴァレーと呼ばれるカルナータカ州の **エ** などに ICT 産業の集積が進んでいる。しかし、国により工業化の進展具合や^(f)優勢な業種はさまざまである。

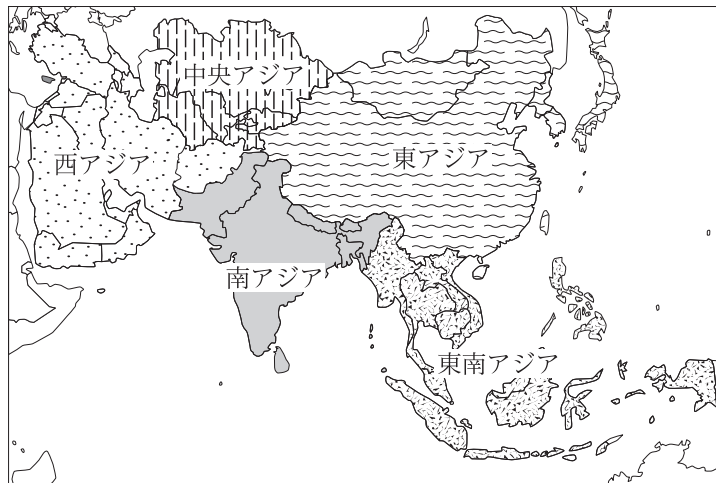
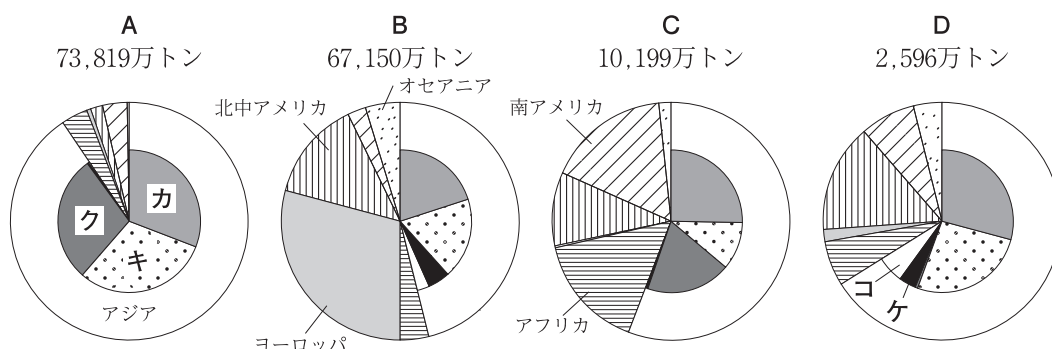


図1

問1 文章中の空欄 **ア** ～ **エ** に該当する適切な用語や地名を答えよ。ただし、**ウ** には国名が入る。

問2 下線部(a)に関して、次の図2は、アジアの生産量が世界最大である農作物の地域別生産割合を示したものであり、A～Dは小麦、米、バナナ、綿花のいずれかである。また、アジアについては前ページの図1に従って、5つの地域に分けた内訳をカ～コで示してある。図2中のカ～コのうちから、東アジア、東南アジア、南アジアに該当するものを1つずつ選び、記号で答えよ。

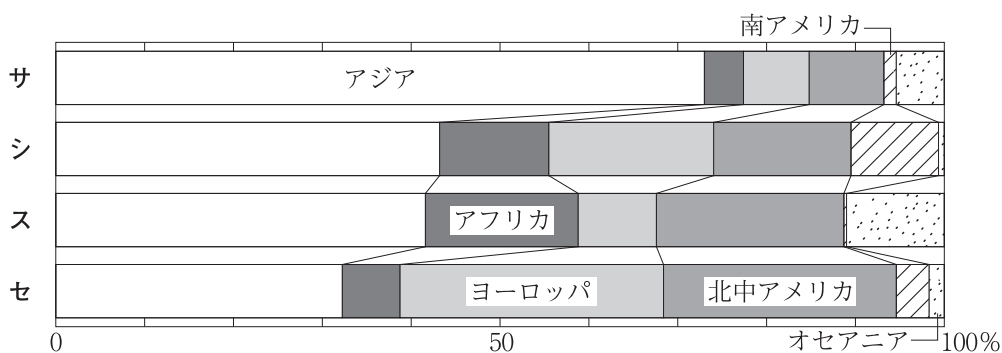


統計年次は2012年。数値は世界の総生産量。FAOSTATにより作成。

図2

問3 下線部(b)に関して、次の図3は、ウラン、原油、石炭、天然ガスの地域別生産量割合を示したものである。

- (1) 図3中のサのアジアにおける生産量第1位の国名を答えよ。
- (2) シ・スに該当するエネルギー資源名をそれぞれ答えよ。



統計年次は2010年。“Energy Statistics Yearbook”により作成。

図3

問4 下線部(c)に関して、次の表1は、鉄鉱石、銅鉱、ボーキサイトの生産上位国が世界全体に占める生産割合を示したものであり、表1中のタ～ツはすべてアジアの国である。表1中のタ～ツに該当する国名をそれぞれ答えよ。

表1 (％)

	鉄鉱石		銅鉱		ボーキサイト	
1位	タ	29.6	チリ	33.9	オーストラリア	27.0
2位	オーストラリア	19.9	ペルー	7.8	タ	17.4
3位	ブラジル	17.8	タ	7.5	ツ	14.3
4位	チ	11.1	アメリカ合衆国	6.9	ブラジル	12.3
5位	ロシア	4.3	ツ	5.5	チ	7.3

統計年次は銅鉱が2010年、他は2011年。『世界国勢図会』による。

問5 下線部(d)に関して、輸出加工区とは何か、40字以内で述べよ。

問6 下線部(e)に関して、中国では経済の自由化政策である「改革開放」の一環として、経済特区が設置された。次の図4に示したナ～ネから、経済特区に当てはまらないものを1つ選んで記号で答えよ。

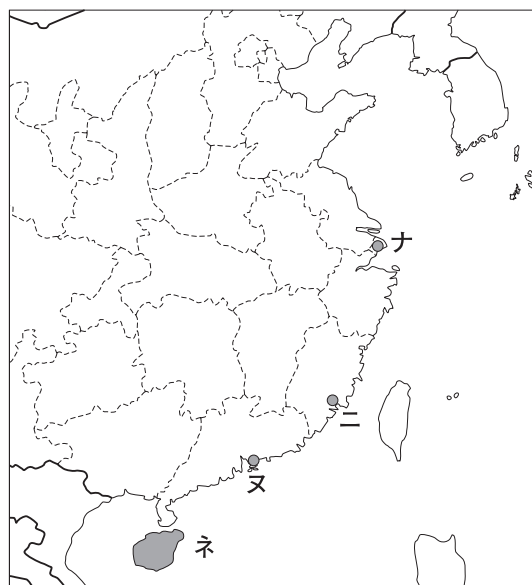


図4

問7 下線部(f)に関して、次の表2は、シンガポール、日本、ベトナムについて、製造業全体に占める業種ごとの雇用者数と付加価値額の割合を示したものである。表2中のハ・ヒに該当する国名を答えよ。

表2 (％)

	ハ		ヒ		フ	
	雇用者数	付加価値額	雇用者数	付加価値額	雇用者数	付加価値額
食料品	6.2	3.2	12.9	20.8	16.5	12.8
繊維	0.8	0.2	22.1	9.3	3.8	1.5
化学	5.3	23.1	2.8	6.5	4.6	11.7
電子機器	22.3	35.8	3.9	3.1	10.2	11.6
電気機器	1.9	1.1	3.0	3.3	5.5	5.5
一般機械	13.5	9.9	1.3	1.4	12.0	10.9
自動車	0.7	0.3	1.6	2.8	11.1	13.1

統計年次は2010年。『世界国勢図会』による。

4 北アメリカに関する次の問い（問1～3）に答えよ。（配点 25点）

問1 次のア～エの文章は、下の図1中のA～Dのいずれかの線上でみられる特徴的な景観を、それぞれ2か所ずつあげたものである。これらを読んで、下の問い(1)～(4)に答えよ。

ア 円錐形の火山がみられる。平原地帯には碁盤目型に区画された農地が広がる。

イ 氷食による細長い湾が連続する複雑な海岸がある。針葉樹林が広がり、多数の湖がみられる。

ウ 砂漠の中を流れる河川がみられる。鳥の足跡のような三角州がある。

エ 乾燥した高原と深い峡谷がみられる。浅い海底が隆起した低平な平野がみられる。



図1

(1) アとウの文章に該当する線を、図1中のA～Dのうちから1つずつ選び、記号で答えよ。

(2) イの文章中の下線部に該当する地形名を答えよ。

(3) エの文章中の下線部に該当する地形名を答えよ。

(4) 次の写真1は、図1中の①～④のいずれかの地点でみられる農地の景観を上空から撮影したものである。この写真の景観がみられる地点として最も適当なものを、図1中の①～④のうちから1つ選び、番号で答えよ。また、写真のような景観の拡大に伴って生じている環境問題について、30字以内で述べよ。



写真1

問2 アメリカ合衆国とカナダの人種・民族について述べた次の文章中の空欄 1 ～ 4 に該当する最も適切な語句を答えよ。ただし、1 はアルファベット4文字で答えよ。

アメリカ合衆国は、建国後 1 と呼ばれる人々が政治、経済、文化の発展に大きな役割を果たした。第二次世界大戦後は 2 と呼ばれるラテンアメリカのスペイン語圏からの移民が増え、彼らはマイノリティ（少数派）の中では最大の集団となっている。現在は各集団がそれぞれの文化を尊重し合いながら共存しようという意識が高まっている。カナダでは多文化主義が採用され、英語と 3 が公用語となっている。さらに、先住民の 4 の自治を認める準州も設置された。

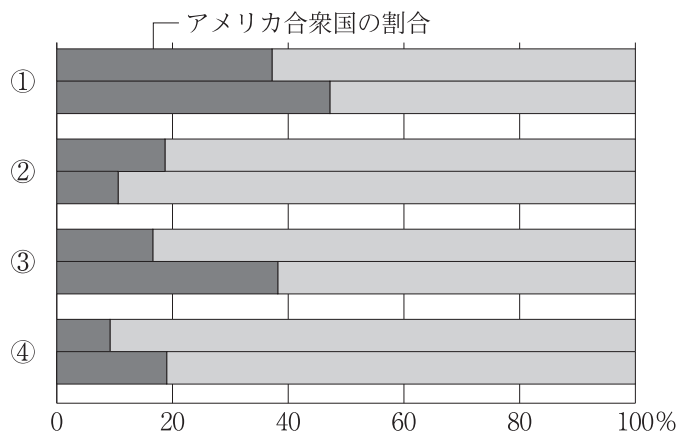
問3 アメリカ合衆国の産業について述べた次の文章を読んで、下の問い(1)～(3)に答えよ。

アメリカ合衆国では、適地適作により、経営規模が大きく、機械化が進んだ農牧業が行われており、世界の食料庫と呼ばれている。また、農業関連のさまざまな事業を展開する 1 と呼ばれる農業関連企業が大きな影響力を持ち、なかでも巨大穀物商社は世界の穀物の価格を左右するほどの存在である。

アメリカ合衆国は、豊富な資源や移民労働力を活かし、技術革新と大量生産を進めた結果、20世紀に世界最大の工業国となった。特に、大西洋岸から五大湖周辺にかけての北東部の地域は重工業地帯として発展した。1970年代以降は、南部や西部のサンベルトが成長するとともに、北東部は工業の衰退が顕著で、サンベルトに対して 2 と呼ばれている。

(1) 文章中の空欄 1 ・ 2 に該当する最も適切な語句を答えよ。

(2) 下線部(a)に関して、次の図2は、主要農畜産物の生産と輸出について、アメリカ合衆国が世界に占める割合を示したものであり、①～④は牛肉、小麦、トウモロコシ、綿花のいずれかである。牛肉に該当するものを、①～④のうちから1つ選び、番号で答えよ。



上が生産、下が輸出。統計年次は2010年。

『世界国勢図会』により作成。

図2

(3) 下線部(b)に関して、次の①～④は、アメリカ合衆国における先端技術産業地域とその中心都市を示したものである。サンベルトに**含まれない**地域を、次の①～④のうちから1つ選び、番号で答えよ。

- | | | | |
|---|---------------|---|--------|
| ① | エレクトロニクスハイウェー | — | ボストン |
| ② | シリコンデザート | — | フェニックス |
| ③ | シリコンヴァレー | — | サンノゼ |
| ④ | シリコンプレーン | — | ダラス |

政治・経済

1 次の文章を読んで、後の問い（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

④ 冷戦の崩壊からすでに20年以上が経過した。しかし、⑤ 国際社会は今日もなおさまざまなリスクにさらされており、不安定な状況に置かれている。

典型的なリスク要因としては、民族間の対立や領有権をめぐる国家間の紛争がある。近年では、2014年3月、ロシアがウクライナ領である 1 を自国に編入し、世界に衝撃を与えた。このロシアの行動に対しては、⑥ 国際連合の総会が、編入の根拠となった住民投票の無効を決議し、日本や欧米諸国も、関係者の渡航禁止や資産凍結など、一定の制裁を発動している。また、同年の主要国首脳会議は、ロシアでの開催が予定されていたが、開催地はベルギーのブリュッセルに変更され、ロシアの参加も停止された。

他方、アジア地域では、かねてから中国と日本との間で 2 諸島の帰属をめぐる対立があったが、近年、その緊張は如実に高まっている。2010年には、同諸島の近海で中国の漁船が海上保安庁の巡視船に衝突する事件が発生し、2012年には、日本政府が同諸島の一部を国有化したことに反発して、中国で激しいデモが起こっている。中国は、南シナ海の領有をめぐっても周辺の国々と対立しており、2014年にはパラセル（西沙）諸島の近海で石油掘削作業を一方的に実施し、ベトナム側の反発を招いている。アジアには、北朝鮮の⑦ 核問題も存在しており、⑧ 地域の安全と平和のために、各国政府には長期的視野に立った冷静な判断と外交上の努力が求められている。

国際社会が抱えるリスク要因は、政治面にとどまらない。これまで、原油価格の高騰や主要国の財政赤字など、さまざまな要因が⑨ 戦後の国際経済に動揺を与えてきた。加えて、近年ではグローバリゼーションによって経済の一体化が進み、経済危機が伝播しやすい状況が生じている。その例として、アメリカにおける低所得層向けの住宅ローンである 3 の焦げ付きがリーマン・ショックを契機として世界的な金融危機を引き起こしたことや、ギリシャの財政赤字問題がユーロ圏や各国経済に甚大な影響を及ぼしたことが挙げられる。

現在の世界経済は、緩やかながら回復の途上にあり、世界全体の⑩ 貿易額にも一定の改善がみられる。しかし、中国など新興国の経済成長の鈍化や、上記のウクライナ問題の経済面への影響など、リスク要因も存在しており、先行きは楽観視できない。国際社会は、自然環境の破壊、⑪ 発展途上国における感染症や貧困など、ほかにも重大な問題を数多く抱えており、それらの解決にむけて、各国政府は協調して取り組んでいかなければならない。

問 1 文章中の空欄 1 ～ 3 に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問 2 下線部④の時期に起こった出来事についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① アメリカは、キューバに建設されたソ連のミサイル基地を脅威とみなし、多国籍軍を編成してキューバを攻撃した。
- ② 東西ドイツは、偶発的衝突の発生を防ぐために、ベルリンの壁を共同で構築して信頼の醸成を図った。
- ③ ソ連を中心とする東側陣営は、アメリカを中心とする西側陣営に対抗するための軍事同盟として北大西洋条約機構（NATO）を結成した。
- ④ 第 1 回アジア・アフリカ会議では、領土の尊重や内政不干渉などを内容とする平和 10 原則が採択された。

問 3 下線部⑤に関連して、主権国家を基本的な構成単位とする国際社会は、三十年戦争を終結させるため 1648 年に締結された講和条約を契機として成立したといわれる。この条約の名称を答えよ。

問 4 下線部③に関連して、次の文章中の波線部①～④のうち、記述に誤りを含むものをすべて選び、その番号を答えよ。誤りを含むものがない場合は、解答欄に⑤と記せ。

国際連合の主要機関である安全保障理事会は、常任理事国である① アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国と、② 10 か国の非常任理事国によって構成されている。非常任理事国の任期は 2 年であり、これまでに日本も非常任理事国に複数回選出されている。安全保障理事会の表決には、手続事項と実質事項のいずれにおいても 9 か国の賛成が必要であるが、③ 実質事項の場合、常任理事国が 1 か国でも反対票を投じると決議案は否決される。また、国際連合憲章では、安全保障理事会と加盟国の間で結ばれる特別協定に基づいて、軍事的措置をとる国連軍を編成することができると定めているが、④ このような国連軍はこれまでに編成されたことはない。

問 5 下線部④に関連して、1968 年に調印された核拡散防止条約（NPT）では、核兵器の製造や取得が許されない「非核兵器国」に対して、核査察の受け入れを義務づけている。この核査察を実施する機関の名称を答えよ。

問6 下線部㉔に関連して、日本の安全保障政策をめぐる記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 防衛の基本方針や武力攻撃事態への対処などを審議する機関として、内閣総理大臣を議長とする国家安全保障会議が設けられている。
- ② 2014年7月に、安倍晋三内閣は、集団的自衛権の行使を一定の条件のもとで容認する方針を閣議決定した。
- ③ 自衛隊法上、自衛隊の最高指揮権は内閣総理大臣が有しているため、防衛出動について国会の承認は必要とされない。
- ④ 日米地位協定では在日米軍の駐留経費はアメリカが負担することになっているが、日本はその一部を肩代わりしており、これは「思いやり予算」と呼ばれている。

問7 下線部㉕に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 戦後の国際経済に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
 - ① 1944年に結ばれたブレトンウッズ協定に基づいて、国際通貨基金（IMF）と国際復興開発銀行（IBRD）が発足した。
 - ② 1971年、アメリカのニクソン大統領が金とドルの交換停止を発表し、これによって主要国の経済は混乱に陥った。
 - ③ 1971年に結ばれたスミソニアン協定では、ドルと円の平価が1ドル360円から1ドル308円に変更された。
 - ④ 1997年にはアジア通貨危機が発生し、大きな打撃を受けた中国の経済成長率はマイナスに落ち込んだ。
- (2) 国際流動性の不足を補うために、金とドルに次ぐ「第三の通貨」として1969年にIMFが創設した権利を答えよ。

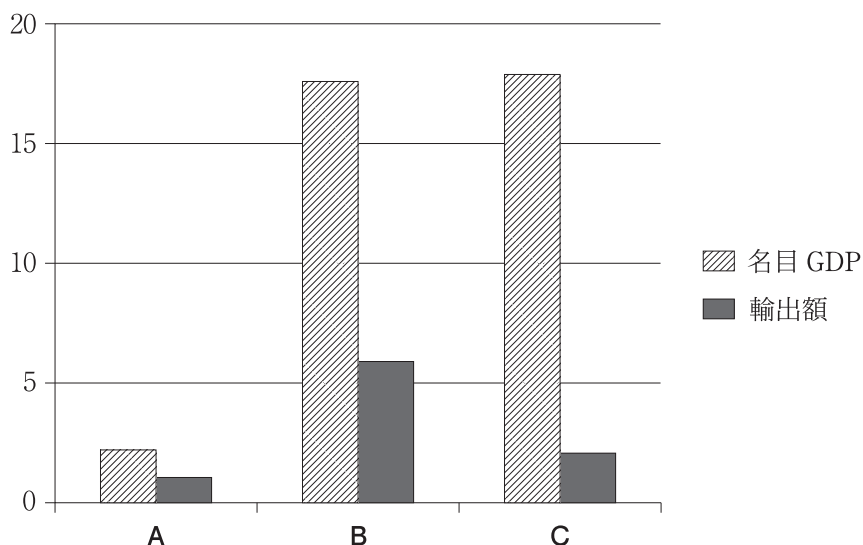
問8 下線部⑧に関連して、次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の文章は、自由貿易を推進するために1947年に締結された、関税と貿易に関する一般協定（GATT）に関する記述である。文章中の空欄 A ～ C に入れるのに最も適当な語句をそれぞれ答えよ。

GATT は、「自由・無差別・多角」を原則としており、無差別の原則の具体例として、ある国に与えた貿易上の有利な条件は他の加盟国にも適用しなければならないという A の原則や、輸入品に国産品と同等の待遇を与えるという内国民待遇の原則がある。また、多角的貿易交渉を通じて貿易の障壁が軽減されてきており、例えば、1967年に妥結した B ・ラウンドでは、工業製品の関税率の平均35%の引き下げについて合意が実現している。1995年には、GATT を発展的に継承する常設機関として C が発足しており、その加盟国も、2012年にロシアが加盟するなど、拡大を続けている。

- (2) 次の図は、欧州連合（EU）、東南アジア諸国連合（ASEAN）、北米自由貿易協定（NAFTA）をとりあげ、これら3地域の名目 GDP と輸出額を示したものである（輸出額には域内向けの輸出も含まれる）。A ～ C に当てはまる地域名の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

図 3 地域の名目 GDP および輸出額（2011年 単位 兆ドル）



矢野恒太記念会編『世界国勢図会 2013/14』により作成。

- ① A — EU B — ASEAN C — NAFTA
 ② A — EU B — NAFTA C — ASEAN
 ③ A — ASEAN B — EU C — NAFTA
 ④ A — ASEAN B — NAFTA C — EU
 ⑤ A — NAFTA B — EU C — ASEAN
 ⑥ A — NAFTA B — ASEAN C — EU
- (3) 近年の日本は、利害の一致したさまざまな国々と経済連携協定（EPA）を締結しているが、日本が EPA を締結していない国を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- ① 韓国 ② シンガポール ③ スイス ④ インド

問9 下線部⑥に関連して、次の文章中の空欄 **D** ・ **E** に入れるのに最も適当な語句を、いずれもカタカナで答えよ。

先進国と発展途上国の格差をめぐる問題は、一般に南北問題と呼ばれている。発展途上国の多くは、かつて植民地支配を受けた地域であり、特定の一次産品などに依存する **D** 経済が、戦後の経済発展を阻んだ要因の一つとして指摘されている。1964年には、南北問題の解決に取り組む機関として国連貿易開発会議（UNCTAD）が発足しており、その第1回総会では、特惠関税の供与や一次産品の価格安定などを求める **E** 報告が提出された。

2 次の文章を読んで、後の問い（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

家計や企業などの各経済主体が市場で決定される均衡価格を前提として需要量や供給量を決定する完全競争市場^⑥では、価格の変化を通じて需要量と供給量の不均衡が調整され、資源の最適配分が実現される。

ただし、現実には、「1」と呼ばれる状況が生じる。まず、各経済主体の決定が、市場に参加していない人々に影響を与える外部効果が存在する場合、各経済主体はそのような外部効果を考慮しないで生産量や消費量を決定することになるので、市場を通じた資源配分は非効率となってしまう。このような外部効果のうち、他の経済主体にプラスの効果を与える場合が外部経済であり、マイナスの効果を与える場合が外部不経済^⑦である。また、警察や消防などの2財は、対価を支払わない人の利用を排除できないことから、市場に委ねても社会に必要とされる量が供給されないことになる。さらに、少数の企業が市場価格をコントロールすることが可能となっている寡占市場の場合^⑧には、市場における価格の変動に応じて需要量と供給量の不均衡を調整するメカニズムが機能せず、その結果、市場を通じた資源配分は非効率となってしまう。以上のような「1」が発生する場合には、市場に委ねても効率的な資源配分が実現しないので、政府が市場に介入して、その補正を図る必要がある。

また、現実の市場では、価格による調整は緩慢であり、需要が供給を下回る場合には、生産量の減少によって不均衡が調整される。その結果、生産設備の稼働率の低下や失業者の増大がもたらされることになる。このような市場経済の問題は、1930年代の世界不況^⑨で明らかとなった。そこで、これ以降、政府が市場に積極的に介入し、貨幣支出の裏づけのある3需要を創出することによって景気の安定を実現しようとする政策が採用されるようになった。

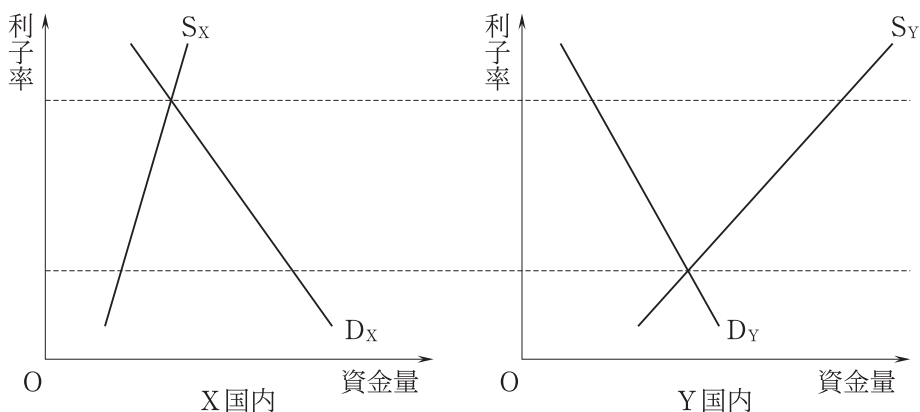
しかし、1960年代後半から、公共部門の非効率性や財政赤字の拡大に伴うさまざまな問題が明らかとなり、不況下で物価が上昇する4に苦しむようになると、財政の肥大化や政府の市場への介入に対する批判が強くなった。こうして、政府の役割を限定し、市場のメカニズムを機能させることによって経済問題を解決しようとする立場が有力となってきた。その後、こうした「小さな政府」^⑩の考え方が、広く先進国で採用されるようになった。

問1 文章中の空欄 1 ～ 4 に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問2 下線部④に関連して、日本の株式会社についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 株主は、自分が出資している株式会社の債務について全額弁済する責任を負うことになっている。
- ② 株式会社の業務執行を担当する取締役は、株式会社の最高意思決定機関である株主総会において選任される。
- ③ 株式会社は、株式や社債を発行する間接金融の方法によって、設備投資などの資金を調達することができる。
- ④ 株式会社は、出資者である株主に対して、出資金に対する一定割合の配当金を支払わなければならない。

問3 下線部⑤に関連して、次の図の D_X 、 D_Y と S_X 、 S_Y は、国境を越えた資金の移動が実現していない場合の X 国内と Y 国内の金融市場における需要曲線と供給曲線を表している。他の条件は一定として、二国間の資金移動が自由化された場合の変化として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。



- ① X 国へ資金が流入するため、X 国内の利子率は上昇する。
- ② X 国から資金が流出するため、X 国内の利子率は低下する。
- ③ Y 国へ資金が流入するため、Y 国内の利子率は低下する。
- ④ Y 国から資金が流出するため、Y 国内の利子率は上昇する。

問4 下線部㉔の外部不経済の具体例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 工場から排出された有害物質によって、周辺の住民に健康被害が発生した。
- ② 鉄道の駅ができたことによって、駅の近所の食堂の売り上げが増えた。
- ③ 景気後退に伴って労働需要が減少したため、賃金が減少した。
- ④ 豊作のため農産物の価格が下落し、農家の収入が減少した。

問5 下線部㉕に関連して、寡占市場においては、有力企業がプライスリーダーとなって価格を設定し、他の寡占企業がそれに追随することがある。このようにして成立する価格を何というか。

問6 下線部㉖に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 1933年にアメリカのF. ローズベルト大統領が採用した経済政策を何というか。
- (2) F. ローズベルト大統領が採用した経済政策の一環として、産業への規制を強化し企業間の競争を制限するため1933年に制定された法律を答えよ。

問7 下線部㉗に関連して、日本の財政や金融についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 消費税は、好況期に家計の支出を抑制し、不況期に家計の支出を促進する働きがあるので、景気の自動安定装置（ビルトイン・スタビライザー）としての役割を果たす。
- ② 不況期には、政府は社会資本の整備を積極的に行ったり所得税や法人税の増税を行ったりして、景気を刺激する政策を採用する。
- ③ 日本銀行は、政府の銀行として国庫金の出納業務を行うとともに、大企業に対して設備投資のための資金を融資する。
- ④ 不況の時には、日本銀行は買いオペレーション（資金供給オペレーション）を行って政策金利を低めに誘導する政策を採用する。

問8 下線部㉘に関連して、『資本主義と自由』を著して、経済の安定を図るため、通貨供給の増加率を固定すべきであるとするマネタリズムの考え方を主張したアメリカの経済学者を答えよ。

問9 下線部㉙に関連して、日本の中曽根内閣のもとで民営化された三公社のうち、いずれか一つを答えよ。

政治・経済の問題は次ページに続く。

3 次の文章を読んで、後の問い（問1～11）に答えよ。（配点 20点）

近代の民主主義は、17～18世紀のヨーロッパで起こった市民革命^④を機に成立したといわれる。この市民革命によって、君主の権力は神から与えられたもので絶対不可侵である、とする **1** 説に支えられた絶対君主による支配は打ち破られ、人間の自由と権利の保障がより確実なものになっていった。このことは、この時期に登場した理論や歴史的文書の内容にも見て取ることができる。例えば、ロックやルソーらによって唱えられた社会契約説^⑥は、人間が生まれながらに有する権利、すなわち自然権の考えを理論構成の出発点に置いている。また、フランス人権宣言には、人権保障を確保するための仕組みとして、権力分立^⑤の重要性がうたわれている。

しかし、資本主義の発展に伴って失業や貧困など社会問題が激化するようになると、これらの文書のもつ限界が次第に顕わになってきた。つまり、これらの文書に欠けていた経済的・社会的弱者の権利を保障する必要性^⑦が生じたのである。このようなことを背景にして、20世紀に入ると人権保障の歴史に新たな動きが現れた。1919年に制定された **2** 憲法が生存権などを明文で規定したことは、その代表的な例である。また、第二次世界大戦後には、国際的な人権保障の動きが急速に発展した。

日本国憲法^⑧もまた、こうした人権保障の発展の歴史^⑨を抜きにして語ることができない。それは何よりもまず、日本国憲法が基本的人権^⑩を永久不可侵の権利と規定し、自由権^⑪だけでなく社会権も保障しようとしていることに表れている。また日本は、国際人権規約や各種の個別的な人権条約^⑫の批准を通じて、国際的な人権保障の流れに沿おうとする努力を重ねてきている。しかし、その一方で、今後取り組みを強化しなければならない課題も少なくない。例えば、自由権や社会権が現実の社会生活の中で十分保障されているとは言い難いし、憲法には規定されていないけれども、社会生活上重要なものとして主張される「新しい人権」^⑬についても同様のことがいえる。

問1 文章中の空欄 **1** ・ **2** に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問2 下線部④に関連して、イギリスでは、1688年に起こった市民革命を機に「国王は君臨すれども統治せず」という原則が確立したといわれる。この市民革命を答えよ。

問3 下線部⑥に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) ロックは、『市民政府二論』において、政府が人民の信託に反して自然権を侵害した場合、人民はどのような権利を行使できるとしたか。
- (2) ルソーは、『社会契約論』において、文明の発達により失われた自由と平等を回復するためには、つねに公共の利益をめざす **3** に基づく共同社会を形成しなければならないと主張した。空欄 **3** に入れるのに最も適当な語句を、漢字4字で答えよ。

問4 下線部㉓に関して、モンテスキューは、1748年に出版された著作において、権力者による権力の濫用を防ぎ人々の自由と権利を保障するためには、国家権力を立法権・行政権・司法権の三権に分け、それぞれを別の機関に担わせる必要があると主張した。その著作名を答えよ。

問5 下線部㉔に関して、「国家からの自由」という性格をもつ自由権と、「国家による自由」という性格をもつ社会権の原理的な違いについて、50字以内で説明せよ。

問6 下線部㉕に関連して、日本国憲法のもとでの国民主権についての記述として適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 衆議院議員については、選出された選挙区の有権者の3分の1以上の署名を集めることにより罷免できる制度がある。
- ② 満20歳以上の国民は、衆議院議員総選挙と参議院議員通常選挙のどちらについても立候補することができる。
- ③ 憲法改正の国民投票において、投票者の過半数の賛成があった場合でも、天皇はこれを拒否する権限をもっている。
- ④ 最高裁判所裁判官の国民審査において、投票者の多数が裁判官の罷免を可とすると、その裁判官は罷免される。

問7 下線部㉖に関連して、大日本帝国憲法（明治憲法）では規定されておらず、日本国憲法ではじめて規定された権利として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 信教の自由 ② 言論・出版の自由 ③ 思想・良心の自由 ④ 財産権

問8 下線部㉗に関連して、最高裁判所の判例に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 非嫡出子（婚外子）が遺産相続する場合、その法定相続分を嫡出子（婚内子）の半分としている民法の規定について、最高裁判所は憲法に違反すると判断したことがある。
- ② 民間企業での採用試験において学生運動の経歴について虚偽の申告をしたとして本採用を拒否した企業の行為について、最高裁判所は憲法に違反すると判断したことがある。
- ③ 愛媛県が靖国神社などに玉串料を公金から支出した行為について、最高裁判所は政教分離原則に反するとして違憲判決を出したことがある。
- ④ 衆議院議員総選挙における選挙区間の「一票の格差」について、最高裁判所は、許容しうる限度を超えているとして、公職選挙法の定数配分規定を憲法に違反すると判断したことがある。

問9 下線部⑥に関連して、日本国憲法で定める自由権についての記述として適当なものを，次のア～ウのうちから過不足なく選び，その記号を答えよ。

ア 任意の自白であれば，自白を唯一の証拠として有罪にすることができる。

イ 表現の自由は民主政治において不可欠の権利であるから，絶対的に保障される。

ウ 営業の自由は明文の規定で保障されていないが，職業選択の自由に当然含まれていると考えられている。

問10 下線部⑦に関連して，次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 日本は，国際人権規約の社会権規約（A 規約）を，いくつかの点について留保したうえで批准したが，そのうちの1点については2012年に留保を撤回した。何についての留保を撤回したか。

(2) 国際結婚が破綻した結果，一方の親がもう一方の親の同意なしに子どもを国外へ連れ出した場合に，原則として元の居住国に子どもを戻すことを義務づけた条約がある。2014年に日本も批准したこの条約は，採択された都市にちなんで何と呼ばれているか。

問11 下線部⑧の例として，当初，私生活をみだりに公開されない権利と捉えられていたが，現在では，自己に関わる情報を自分でコントロールするなど，より積極的な意味をもつ権利として捉えられるようになった権利があるが，この権利を何と呼ぶか。

政治・経済の問題は次ページに続く。

4 次の文章を読んで、後の問い（問1～10）に答えよ。（配点 20点）

日本は、第二次世界大戦による灰燼かいじんの中から復興③を遂げ、高度経済成長⑥を通じて「経済大国」の仲間入りを果たした。その後、1980年代後半にバブル景気⑦と呼ばれる好景気が到来し、国民は「豊かさ」④を謳歌おうかするが、1990年代初めにはバブル景気は崩壊し、それまで経験したことの無い長期にわたる景気低迷期に入ることとなった。

バブル崩壊後、景気回復の最大の障害となったのは、金融機関が大量に抱え込んだ回収困難な貸付金である **1** であったといえよう。これに苦慮した金融機関が貸し出しを抑制したことから、企業の投資が落ち込み、それが業績悪化につながった。さらに、企業⑧の業績悪化が雇用情勢の悪化につながり、それにより消費も落ち込むという、負のスパイラルに日本経済は陥ったのである。

こうして不況が長期化する中、2001年に発足した **2** 政権は、「聖域なき構造改革」をかかげて、規制緩和①、民営化を推進した。市場に対する政府の介入を極力排除し、民間の活力を高めようとしたのである。この時期には、国民相互間の所得格差の拡大、多数の中小企業⑨の倒産など、国民にとって大きな「痛み」も問題となった。その後、まがりなりにも景気回復への道すじが開かれ、2002年以降は、戦後最長とされる景気拡大が続いたが、アメリカにはじまる金融不安の拡大により、2008年には、世界的な金融危機の様相を呈するようになった。これによって、銀行や証券会社などが大きな損失を被るなど日本経済も大きな影響を受け、景気は急激に悪化した。

近年では、安倍政権による「アベノミクス」によって景気回復の兆候も見えてきてはいるが楽観視はできない状況にある。また、日本社会に根を張ってしまった感がある「貧困」の問題や、労働者⑩の雇用環境をめぐる問題などに取り組むことも求められている。

問1 文章中の空欄 **1** に入れるのに最も適当な語句、 **2** に入れるのに最も適当な人名（姓）を、それぞれ答えよ。

問2 下線部④に関連して、戦後復興期に、政府は産業の復興を図ることを目的として、石炭や鉄鋼などの基幹産業に対し資金・資材などを重点的に配分する生産方式を採用した。この生産方式を答えよ。

問3 下線部⑥に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 高度経済成長期の日本経済に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 朝鮮戦争に軍事介入したアメリカが必要な物資を日本から調達したことにより、特需景気が発生した。
- ② 池田勇人内閣は、国民所得倍増計画を策定し、経済成長を促進させる政策を講じた。
- ③ 産業の比重が、家電や自動車などの加工組立型産業から、鉄鋼や石油化学などの素材型産業へと移った。
- ④ 高度経済成長の始まりとともに、自家用車・クーラー・カラーテレビの「三種の神器」と呼ばれる耐久消費財が急速に普及した。

(2) 高度経済成長期に社会問題となったいわゆる四大公害病のうち、カドミウムを原因として発生した公害病を答えよ。

問4 下線部③に関連して、いわゆるバブル期の日本経済に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① バブル景気は、円高不況から脱出したあとも日本銀行が公定歩合を低い水準に維持したことにより発生した。
- ② 家計所得の上昇により、日用品から高級品にいたるまで商品の需要が大きく拡大したため、消費者物価が高騰した。
- ③ 地価や株価の高騰により、土地や株式などの資産を有する国民と、そうした資産を有しない国民との間で資産格差が拡大した。
- ④ リゾートマンションやリゾートホテルなどの建設に対する企業の投資が活発化した。

問5 下線部④に関連して、以下の表は、ある年の国民経済の活動水準を図る指標の項目と金額を表したものである。表をもとに、国民純生産（NNP）の金額を求めよ。

項目	金額
国内総生産	550兆円
海外からの純所得	30兆円
間接税	40兆円
補助金	20兆円
固定資本減耗分	120兆円

問6 下線部㉔に関連する次の語句A～Cと、それに関する記述ア～ウの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

A コンプライアンス

B アウトソーシング

C リストラクチャリング

ア 業務の一部を、外部の業者に委託すること。

イ 法令や、自主的に定めた倫理規定などを遵守すること。

ウ 不採算部門からの撤退や人員削減などにより、事業を再構築すること。

① A－ア B－イ C－ウ

② A－ア B－ウ C－イ

③ A－イ B－ア C－ウ

④ A－イ B－ウ C－ア

⑤ A－ウ B－ア C－イ

⑥ A－ウ B－イ C－ア

問7 下線部㉕に関連して、コメの生産・流通に市場原理を本格的に導入するなど、主要な食糧の流通の合理化を図るため、1994年に制定された法律を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

① 農業基本法

② 食糧需給価格安定法

③ 農地法

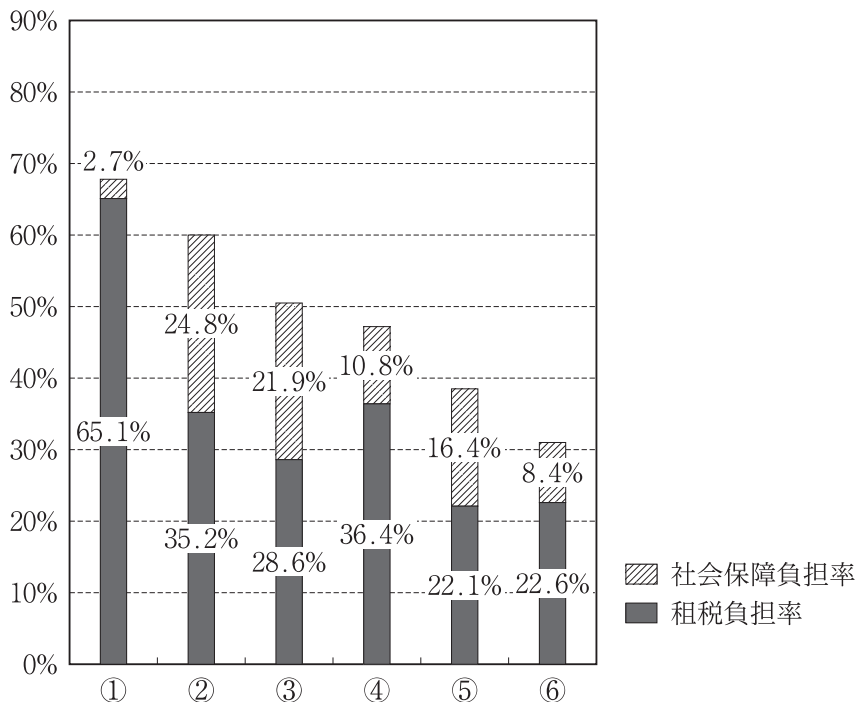
④ 食料・農業・農村基本法

問8 下線部㉖に関連して、従業員一人当たりの有形固定資産額が低いことが、中小企業の生産性や賃金の低さの原因となっている。この「従業員一人当たりの有形固定資産額」を意味する語句を、漢字5字で答えよ。

問9 下線部⑥に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 1946年に制定され、1950年に全面改正された、日本における公的扶助の中心立法は何か。
- (2) 次の図は、アメリカ、イギリス、デンマーク、ドイツ、フランス、日本の6か国の国民負担率を比較したものである。国民負担率とは、租税負担率と社会保障負担率の合計（租税負担と社会保障負担の合計を国民所得で除したもの）をいう。図中の①～⑥のうち、日本にあたるものを選び、番号で答えよ。

図 6か国の国民負担率



(注) 各国2010年(度)の数値。
財務省資料より作成。

問10 下線部①に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 使用者が、労働者の団結権・団体交渉権・団体行動権を侵害したり、労働組合の活動を妨害したりする行為を何というか。
- (2) 国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活においても多様な生き方が選択・実現できる、仕事と生活の調和がとれている状態を何というか。カタカナで答えよ。

5 次の文章を読んで、後の問い（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

次は、日本国憲法における国会・内閣・裁判所の権限についての規定である。

第41条 国会は、国権の **A** 機関であつて、国の唯一の立法機関である。

第65条 行政権は、内閣に属する。

第76条 すべて司法権は、最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する **B** 裁判所に属する。

これらの条文にも示されているように、日本の統治機構^④では三権分立が採られており、これら三権は相互に牽制しあうことで均衡を保つ関係に置かれている。

まず国会は、主権者である国民によって選出された議員^⑤によって構成されており、憲法上も衆参の議員は「**C**」を代表する」とされている。そして、議員や内閣が提出した法案を、比較的少数のメンバーで構成される、衆参各院の **D** において実質的に審議することを通じて、法律を制定する。また、国会は行政権を担う内閣の **E** である内閣総理大臣を指名する。そのため、内閣の存立は国会のあり方にかかっているということができ、国会の多数勢力が変われば内閣は交代することになる。この点は、アメリカの政治制度^⑥とは対照的である。アメリカでは、行政権を担う大統領は国民によって選出され、議会の多数党と大統領の出身政党が必ずしも同じとは限らないからである。

^⑥内閣は、内閣総理大臣とその他の国務大臣から構成され、国会に対し **F** 責任を負いつつ、国会の制定した法律を執行する。そして内閣は、法律の規定を実施するために **G** を制定することができる。内閣のもとにはさまざまな行政機構^⑦が設けられており、今日その役割はきわめて大きくなっている。

国会の制定した法律や内閣の行為が憲法にかなったものであるかどうかについて判断する役割を担うのが裁判所^⑧である。とりわけ最高裁判所は、憲法適合性を終局的に判断する権限をもつことから「憲法の **H**」と呼ばれている。そして、違憲立法審査権は法の支配にとってきわめて重要なものであることから、裁判官には職権の独立性が強く保障されている。その一方で、国会に **I** ^⑨裁判所設置権が与えられていることなどからもわかるように、裁判所に対する他の国家機関からの抑制も図られている。

問1 文章中の空欄 **A** ~ **I** に入れるのに最も適当な語句を、次のア～ホのうちからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| ア 仲裁 | イ 本会議 | ウ 分限 | エ 両院協議会 |
| オ 委員会 | カ 政令 | キ 国家 | ク 連帯 |
| ケ 無限 | コ 統括 | サ 公聴会 | シ 条例 |
| ス 参与 | セ 有限 | ソ 地域 | タ 独立命令 |
| チ 特別 | ツ 単独 | テ 綱領 | ト 弾劾 |
| ナ 同輩 | ニ 番人 | ヌ 中心 | ネ 高等 |
| ノ 下級 | ハ 首長 | ヒ 最高 | フ 国民 |
| ヘ 定款 | ホ 代理人 | | |

問2 下線部④に関連して、日本の地方自治制度についての次の記述ア～ウのうち、その内容が適当なものを過不足なく選び、記号で答えよ。

- ア 地方交付税制度は、地方自治体間の財政力の格差を是正することを目的とするものである。
- イ 地方自治体には、行政委員会として、教育委員会や選挙管理委員会が設置されている。
- ウ 事務処理に対する国の関与に不服がある場合、地方自治体は国地方係争処理委員会に審査の申立てができる。

問3 下線部⑤に関連して、次のア～ウは、日本の衆議院議員総選挙または参議院議員通常選挙のいずれかの制度についての記述である。これらを衆議院議員総選挙と参議院議員通常選挙の制度に区別した場合の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ア 比例代表選挙では、政党名と個人名のいずれでも投票できる。
- イ 比例代表選挙は、全国を11のブロックに分けて実施される。
- ウ 比例代表選挙と選挙区選挙との重複立候補は認められていない。

	衆議院議員総選挙	参議院議員通常選挙
①	ア	イ・ウ
②	ア・イ	ウ
③	ア・ウ	イ
④	イ	ア・ウ
⑤	イ・ウ	ア
⑥	ウ	ア・イ

問4 下線部㉔に関連して、次の文章は近年の日本における政権交代について述べたものである。文章中の空欄 1 ・ 2 に入る正しい政党名をそれぞれ答えよ。

2009年に実施された衆議院議員総選挙の結果、1 と社会民主党および国民新党による連立政権が成立し、政権が交代した。その後、数年間、1 を中心とする連立政権が続いたが、2012年に実施された総選挙の結果、再び政権交代が起こり、自由民主党と 2 による連立政権が成立した。

問5 下線部㉕に関連して、アメリカの政治についての記述として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 大統領は、議会が可決した法案に対して拒否権を発動できる。
- ② 大統領は下院を解散する権限をもつ。
- ③ 上院議員は各州の州議会において選出される。
- ④ 保守党と労働党による二大政党制が定着している。
- ⑤ 上院・下院は大統領に関する弾劾裁判を行うことができない。

問6 下線部㉖に関連して、日本の内閣制度やその現状についての記述として**適当でないもの**を、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 内閣不信任が決議された場合以外にも、内閣は衆議院の解散を決定できる。
- ② 国務大臣は、全員が文民でなければならない。
- ③ 閣議は内閣総理大臣が主宰し、その決定は多数決による。
- ④ 内閣総理大臣は、任意に国務大臣を罷免できる。
- ⑤ 在任中の国務大臣の訴追には、内閣総理大臣の同意が必要とされる。

問7 下線部㉗に関連して、近年、公務員制度改革が進められつつあるが、その背景には、高級官僚などが官庁を退職した後に、それまでの職務と関係する特殊法人や企業に再就職する慣行をめぐる議論がある。この慣行を一般に何というか。

問8 下線部㉘に関連して、日本における裁判についての記述として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 民事訴訟において、簡易裁判所の判決に不服がある場合には地方裁判所に控訴する。
- ② 刑事事件の被疑者を起訴できるのは、検察官もしくは被害者（遺族を含む）である。
- ③ 裁判官に対して訓告などの懲戒を行う権限は、裁判所だけでなく法務大臣も有する。
- ④ 刑事裁判は原則として公開法廷で行われるのに対し、民事裁判は非公開で行われる。
- ⑤ 有罪が確定した事件について再審が行われることがあるが、再審の結果、死刑判決が取り消された例はない。

問9 下線部㉙に関連して、1891（明治24）年に起こったある事件に際して、大審院長である児島^{これ}権謙が政府による裁判干渉を排除して司法権の独立を守ったとされる。この事件を何というか。

